

第七十六回 帝國議會

國民財蓄組合法案外四件委員會議錄(速記)第四回

昭和十六年二月十八日(火曜日)午前十時一一
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 萩池 良一君
理事伊東 岩男君 理

石井徳久次君

駒井 重次君

田中 源君

平野 力三君

大藏次官

大藏省銀行局長

國史館藏書記官

國軍貯蓄獎勵局次長

貯金局長

保險院簡易保險局長

本日ノ會議ニ上リタル議案

國民財蓄綜合法案(政府
國民更生金庫法案)

開會致シマ

清水(德)委員 賦金組合

御尋ね致シマス、一國民監

此ノ「左」ノ方法ニ依ル。

意味ナンデスカ

○栗原政府委員 第二條ニ於キニシテ貯蓄ノ種類ヲ限定致シマシタノハ、此ノ新組織ノ目的ニ鑑ミマシテ、成ベク不健全ニ瓦ラザル貯蓄ノ方法ニ據テシメタイ、斯ウ云フ趣旨カラ出テ居ルノデアリマス

○清水(徳)委員 サウスルト「郵便貯金又ハ郵便年金ノ掛金若ハ簡易生命保険ノ保険料ノ拂込」トアリマスガ、郵便貯金ノ勧誘ハ組合ガ致スノデスカ、シナインデスカ

○栗原政府委員 郵便貯金ヲ組合員ガ致スコトヲ希望致シマストスレバ、ソレニ對シテ組合ハ斡旋ヲ致スコトニナツテ居リマス、郵便局ニ代リマシテ、ソレヲ勧誘スルト云フコトハ致サナイノデアリマシテ、其ノ希望ニ依リマシテ斡旋ヲ致スコトニナツテ居リマス

○清水(徳)委員 郵便年金及び簡易生命保険ニ付テハドウデスカ

○栗原政府委員 ヤハリ同ジヤウニ組合方斡旋ヲ致スダケデアリマシテ、ソレニ向ツテ勧誘ヲ致スト云フヤウナコトハ、此ノ際考ヘテ居リマセヌ

○清水(徳)委員 サウスルト斡旋ト云フ意味ハ掛金ノ斡旋デスカ、年金ノ加入ノ斡旋デスカ

○栗原政府委員 掛金ヲ拂込ミマス場合ニ、其ノ組合員ト郵便局トノ間ニ立チマシテ、斡旋ヲ致スコトニナル譯デアリマス

○栗原政府委員 拂込ニ付キマシテ斡旋ヲ致シマス、其ノ加入ヲ勧誘スルト云フコトマデハ致サナイ積リデゴザイマス
○清水(徳)委員 御説明デハ分リ兼ネマフガ、簡易生命保険ノ保険料ノ拂込ヲ扱ハセレント云フコトニナリマスト、専門家ヲ置ケレバナラヌデヤナカラウカト思ハレルノデス、從來特定郵便局デハ、専門家ヲ置いて毎月拂込ヲ取ル、其ノ外ニ勧誘ヲ熱心ニヤツテ居ルノデスガ、御承知ノ通ニ特定郵便局——元ノ三等郵便局ガ簡易生命保険ヲ扱フヤウニナツテカラ、全國ノ加入者ガ非常ニ多クナツテ、各方面ニ非常ニ好評ヲ博シテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ私共三等郵便局ノ勞ヲ多トシ、其ノ功績ヲ讃ヘテ宜トイ思ツテ居ルノデアリマス、今日特定郵便局ガ、非常ニ成績ヲ各方面ニアリマシタガ、今ハ請負デナイ爲ニ、遞業員ノ下級從事員ノ待遇ヲ良クセラレバ特定郵便局ノ從事員ダト思フ、私共昨年ノ十月頃豫算編成ノ前ニ遞信次官ヲ御尋ねシテ、特ニ下級從事員ノ待遇ヲ良クセラレバ、斡旋スルノデスカ、生命保険ノ勧誘ト拂込ノ方ダニ

員トノ比較ヲ取ツテ見マスト、御話ニナラヌ程惡イノデス、是ハ何トシテモ直サナケレバナラヌ大切ナ仕事デアルト私等ハ信ジテ居ル、今度モ若干豫算ニ計上サレテ居ルヤウデスガ、ソレデモ尙ホ他ノ方トノ權衡ヲ失スルンデヤナイカト思フ、今度小學校教員其ノ他ニ對シテ月十圓ヲ増スト云フコトニナレバ、尙ホ懸隔ガヒドクナルンヂヤナイカト思フノデス、ソコヘ持ツテ來テ簡易生命保險ノ拂込ガ、他ノ方ノ手ニ移ルト云フコトニナレバ、今マデ其ノ方ノ色々ノ手當ヲ貰ツテ居ツテ、假令他ノ方ノ待遇ガ惡クテモ、引合ハナイデモ、困ツテモ、リガアツチ――ユトリガアルト言フコトハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、其ノ方ハ苦シクナイモノダカラ、ソレニ依ツテ苦シイダラウ、方ノ補ヒガ付ク、斯ウ云フ状況デアツタト、私共ハ普段カラサウ思ツテ居ル、サウ思ツテ居ル所ヘ此ノ案ガ出タモノダカラ、是ハ三等郵便局――特定郵便局ハ苦シイダラウ、是ハ定メシ惱ムダラウ、斯ウ云フ感ジガスルノデスガ、簡易保險局長ハ如何御考ヘテセウカ

付託議案
国民貯蓄組合法案（政府提出）（第六號）
國民厚生金庫法案（政府提出）（第六七號）
日本勸業銀行法中改正法律案（政府提出）（第六八號）
北府道拓殖銀行法中改正法律案（政府提出）（第六九號）
農工銀行法中改正法律案（政府提出）（第七〇號）

率直ニ考へマス所ヲ申シマスト、斯ウ云フ風ナ組合ヲ作りマジテ、全國ニ行渡ラストマデヤリ、其ノ上ニ尙ホ新規ノ募集モヤルト云フコトニナリマスト、事業自體ニ於キマシテ、所謂弱體者ガ入ツテ來ルト云フ危険ガ相當アリマス、ソレカラ又集金ヲサウレバ宜シウゴザイマスガ、サウ云フ風ナ方ニ御依頼申上げルト、偶ニハ確實ニヤラコトニナリマスト、三等局方面ニモ相當影響ヲ致シテ來ルヤウニモ思ヒマスノデ、此ノ幹旋ト云フコトノ内容ヲ、出來ルグケ調節シテ行カナケレバナラヌデヤナイカ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、幹旋ハ要スルニ募集ノ時ニ、郵便局ノ人ト一緒ニ附イテ行ツテ、一ツ入ツタラドウカト云フヤウナ勸奨ノ幹旋ヲ願フトカ、或ハ保険料ノ拂込ガ停滯シテ居ルヤウナ場合ニ、是非拂込ムヤウニト云フ風ニ御勧メヨ願ツテ、保険料アタリノ拂込ヲ、正確ニヤルヤウニ勸奨シテ戴ク、サウ云フ風ナ所ニ止メテ行キタイ、斯様ナ希望ヲ私共ハ持ツテ居ルノデアリマス

○清水(德)委員 ドウモ法文ノ解釋上分リ兼ネマスガ、第六ノ生命保険ノ保険料ノ拂込、此ノ方ハ一年ニ一度カ二度ノ拂込デアルカラ、勸誘ノ方ハ會社デヤツテ、保険料ダケヲコチラノ組合ノ方デヤツテ戴ケバ、寧ロ大助カリダラウト思フ、經濟的ダラウト思フ、併シナガラ簡易生命保険ノ方ハ――

寧ロ第一號ハ郵便貯金、郵便年金又ハ簡易生命保険ト云フコトニシテ、掛金トカ保険料ノ拂込トカ云フ字ガナイ方ガ扱ヒ上宜イノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ氣ガ致シマス、素人ニ簡易生命保険ノ細カイ計算ナドノコトヲサセ、拂込ガゴズノシテ、時々間違ヒガ起キルノヲ、直シテ行クノニ宣シノデヤナカラウカト思フノデス、又法文ノ解釋ノ仕方モアラウケレドモ、而シテ又「前項ノ貯蓄ノ幹旋ノ方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」トアルカラ、何レ其ノ邊ハ多少ノ手加減モ出來ルデアリマセウガ、條文ノ解釋が難解デ、私等ハ不安ニ思フノデアリマス、ソレデ前申ス通り明瞭ニシテ戴キタイ、其ノ點ニ付テノ簡易保險局長ノ御意見ハドンナモノデスカ。

○前田政府委員 集金ヲ他ニ任スト申シマスコトハ、將來ノ募集ニ相當支障ヲ來スト云フ風ニ考へテ居ルノデアリマス、隨テ私共トシテハ、郵便局員ニ專門ニ集金ヲヤラシテ見タイ、ソレハ御承知ノ通リ郵便局員ハ長年斯ウ云フコトニ從事シテ居リマス爲ニ、保険ノ性質ニ付テモ能ク之ヲ理解シ、又集金ノ方法等ニ付テモ、能ク熟練シテ居ル譯デアリマスカラ、私共トシテハ將來トモ、郵便局員ニ依ツテ郵便年金、簡易保險ノ募集維持ヲ續ケテヤツテ行キタイト云フ風ニ考へテ居リマスノデ、他ノ方々ニ今マデヨリ以上ニ團體ヲ擴メマシテ、其ノ方ニ新シク集金ヲヤラスト云フコトニ付キマシテハ、私共トシテハ差控ヘタイト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、サウ云フ譯デアリマシテ、私共モ率直ニ此ノ第二條ヲ讀ンデ、何ダカ疑ハシイヤウナ懸念ノアルヤウニモ取

ノナイヤウニ、條文ヲ御訂正デモ願ツテ置

此ノ國民貯蓄組合ガ出來マシテ、政府ノ方

デ

各種ノ命令ヲ出スコトガアリマシテモ、

スカラ、現在ノ簡易保険ノ從事員等ガ、失

業狀態ニナル程ニ、其ノ從事員ノ仕事ヲ奪

ス

居ル譯デアリマス

キマスレバ、洵ニ結構デハナイカト考ヘテ

付

テ

ノ

廣瀬政府委員 清水委員ノ先程ノ御質問ニ付テアリマスガ、今度貯蓄組合ガ、各種ノ貯蓄ニ付テ幹旋ヲ致スト云フコトニ付居ル譯デアリマス

付

テ

ノ

考

ヘト、只今ノ御質問ニ依リマスト、多

少

御考

ヘ

方

ニ付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ト

ア

リ

マ

ス

付

テ

立

法

致

シ

マ

シ

タ

方

面

ノ

考

ヘ

ケテ居ルノデアリマスガ、是モ國民ガ郵便貯金ヲ選ビマスル場合ハ、假令毎月一回十錢ツツノ貯金ト雖モ、之ヲ厭ハズニ扱ツテ來タノデアリマス、御参考ノ爲ニ申上ゲマスガ、郵便貯金ノ受拂ハ、一回毎ニ經費ハ十錢ツツ掛カルノデアリマス、然ルニ拘ラズ十錢ノ貯金ヲヤハリ扱フト云フヤウナコトスラヤツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フコトモ致シマスルト同時ニ、斯ウ云ツタ簡易保險、保險會社ト云フ方面ノ掛金ニ付キマシテハ、國民ノ好ム所ニ從ツテ行フト云フ方針ヲ採ツテ居ルコトヲ、御諒承願ヒタイト存ズル次第デアリマス
○清水(德)委員 條文ノ解釋デハ遺憾ナガラ御答辯ノヤウニハ思ハレマセヌ、此ノ機會ニ御尋ネシタイノデスガ、郵便貯金ガ今マデ二千圓デアツタノガ、三千圓マデ出来ルヤウニ御上ゲニナリマシタノハ、洵ニ結構ナコトダト思ヒマスガ、ソレト同様ニ簡易生命保險ノ最高額ハ、從來一人デ七百圓マデ入ルコトガ出來ルノデスガ、ソレヲ千圓マデ上ゲタラ宜カリサウニ思フノデス、詰リ此ノ際國民ノ餘裕アル金ヲ、成ベク使ハセナイヤウニスルト云フ貯蓄獎勵ノ爲ニハ、貯金ニ代ル生命保險ノ小サイ千圓位ナ程度ノモノヲ、大イニ普及スルノガ宜イカト思ハレルノデアリマス、簡易生命ヲ千圓マデ上ゲタ場合ト、又現在ノ場合ト、國民ハドチラニ餘計ニ入り易イカト云フト、現在ノ一般生命保險ノ方ニ於テ、七百圓カラ千圓ノ間ノ加入者ノコトヲ考ヘテ見マスト、ドウモ簡易生命保險ノ方ニ千圓マデヲ扱ハシタ方ガ、國民ガ生命保險ニ入ル率ガ遙カニ多イト思フ、此ノ頃金ノ高モ、標準モ違

於キマシテ、千圓以下ノ加入者ガ非常ニ少
クナツタカラ、之ヲ寧ロ簡易生命保險ニ移
シテ、千圓マデヤツタ方ガ國民ラシテ加入
サセル率ガ多イデハナイカ、斯ウ私ハ思フ
ノデスガ、ソレハドナタカラデモ宜イノデ
スガ、御答ヘヲ願ヒタイ

卷之三

マジ 畫が シテ
イマ 生金 考へ
ダケ 來ル 考へ
トハ 「ヲ」
分四 ナカ ゴザ
モノ モノ 民更
は 公 トハ 律ニ
於テ ハ公 屬シナ
ニナ 圓ノ二
出資 其ノ二
任ノ 任ノ 任ノ
マス マス マス
ナツ ナツ ナツ
團法 團法 團法

國民貢金額一百五十九年六月三十日付迄
支拂申候。此後當即付清。但因現時
國庫空虛。不能即期付清。茲將所欠款項
列于左。請照此款項付清。特此佈。
大日本帝國國會議事堂
大正九年六月三十日

業イトノ利度ノ出ヲス所ノコト申レバハ只三依私法更生法人社團居リ店タ忠ヒ中シノルマシス人カノル上中中上國民融協ベ、生金

寄附團法ノ際○更生ベクナイ業者生ヨリバカフルニ満足ソレニ云○相ノ古失ヨリ依ツ居ルテハスト相當ノ云手許〇長其ヲ顧行業

更生会ノコトナラニテ時日ノ内に本金全額返済シテ、契約書ノスカラリマサズガリマフ。スカニ付キマ付キマス。

卷之三

○駒井委員 御趣旨ハ分リマシタガ、何カ
具體的ニ睡眠状態ニアル財産ノ活動ヲ、促
進サセルヤウナ方法ヲ講ジテ居ラレルノデ
ゴザイマセウカ
○栗原政府委員 或ヘ睡眠ヲ致シテ居ルト
云フコトデハナイカモ知レマセヌガ、其ノ
一ツノ方策トシマシテハ、現在眠ツテ居リ
マス所ノ資産ガ、資金ニ變ルヤウナ機會ガ
アツタ時ニハ、サウ云フ機會ヲ捕ヘテ貯蓄
ニ向ハシムル方法ヲ講ジテ居ルノデゴザイ
マス、又廢品ノ回収デアルトカ、其ノ他實
際上ニ於キマシテ、活動ヲシテ居ナイ所ノ
資金ナリ、資産ナリト云フモノガ相當アル
ノデゴザイマシテ、是等が資金化スル場合
ニ於キマシテハ、其ノ資金ヲ極力吸收スル
コトニ努メテ居ルノデゴザイマス
○駒井委員 ソレデハ少シ違フ方面カラ伺
ツテ見ヨウト思フノデスガ、信用取引ノ助
長政策ト、貯蓄獎勵ト云フ問題ハ、中々難
カシイ問題ダト思ヒマスガ、昨年ノ十月或
ハ十一月ノ交ニ、全國的ニ貯蓄ガ減少シタ
ト云フヤウナ傾向ガ見エル、其ノ最大ノ原
因ハ信用取引ノ圓滑ヲ缺イタト云フコトニ
アルノデハナイカト思フノデゴザイマスガ、
併シ一面ニ於テ此ノ信用取引ノ助長政策
ト云フモノハ、低物價政策ト衝突ヲスルト
云フヤウナ考ヘ方モアルノデアリマシテ、
此ノ點ドウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリ
マスカ、ソレヲ一ツ御答ヘ願ヒタイト思ヒ

ガアツタヤウナ状況ガアツタノデハナカラ
ウカト、私共モ思フノデアリマスガ、此ノ
經濟上ノ現象ニ付キマシテ、例ヘテ申シマ
スト現金取引ノ部分ガ増加シタ、斯ウ云フ
コトニ對シマシテハ、貯蓄獎勵ノ見地カラ
致シマシテ、成ルベク其ノ現金取引ヲ信用
取引ノ方ニ向ハセテ、サウシテ通貨ノ數量
ヲ節約スルト云フ方面ニ、指導ヲ致シテ居
ルノデゴザイマス

申上ゲマシタヤウニ、何等カノ工夫ヲ凝ラシマシテ、成ベク通貨ヲ要シナイヤウナ信
用取引ノ形ニ、現在ノ此ノ現金取引ノ制度ヲ持ツテ持クト云フヤウニ考ヘナケレバナ
ラスト云フコトヲ、現在考ヘテ居ルノデアリマス、併シ具體的ニソレデハドウスルカ
ト云フコトニ付キマシテハ、マダ只今ノ所デハハツキリシタ考ヘハ持ツテ居ラナイノ
デアリマス、尙ホ現金取引ヲ要スル取引方法ト云フモノガ、今後ドノ程度マデ擴張サ
ルベキカト云フヤウナコトモ、見据エタ上云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○駒井委員 是ハ中々難カシイ問題デ、信用取引ノ限度ト言ヒマスカ、或ハ現金取引

ノ限界ト言ヒマスカ、是ハ餘程御研究ヲ願

ハナケレバイカヌ問題デハナイカト思ヒマ

ス、是ハ其ノ位ニ致シマシテ、次ニ強制貯

蓄制度ニ付テ、大藏次官ニ御伺ヒシテ見タ

イト思ヒマス、ドウモ大藏大臣ガ時々御發

表ニナツテ居リマスル御意見ヲ、新聞紙上

デ見マスト、強制貯蓄制度ハ採用シナイト

云フ風ニ、了解シテ宜イノデアリマセウカ

○廣瀬政府委員 仰セノ通りデアリマシテ、現時局ニ

強制貯蓄ト云フ制度ハ、政府トシテハ採用

シナイ積リデ居リマス

○駒井委員 私ハ強制貯蓄制度ニ付テハ、

尙ホ一考シテ戴キタイト思フノデアリマス、

現在ノ状態ニ於テ強制貯蓄制度ヲ布カレル

ナラバ、大シタ影響ハナイノデハナイカ、

併シ一層公債消化が困難ニナツテ來ルトカ、

色々金融事情ノ逼迫ヲ來スト云フヤウナ場

合ニ、此ノ強制貯蓄制度ヲ採用シヨウトナサ

ツテモ、非常ナ危険ヲ伴フモノデハナイカ

ト思フノデアリス、強制貯蓄制度ト申シマ

ツテ貯蓄ガ行ハレルコトガ、最モ此ノ際ノ

シテモ、例ヘバ國稅ノ何割ヲ強制貯蓄セセ

ル、併シ特別ノ理由ノアルモノニ對シテ

ハ、引出シヲ認メルトカ緩和ノ方法ハアル

ト云フコトニ付キマシテ、一遍

デハハツキリシタ考ヘハ持ツテ居ラナイノ

デアリマス、尙ホ現金取引ヲ要スル取引方

法ト云フモノガ、今後ドノ程度マデ擴張サ

ルベキカト云フヤウナコトモ、見据エタ上

云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○駒井委員 是ハ中々難カシイ問題デ、信

用取引ノ限度ト言ヒマスカ、或ハ現金取引

ノ限界ト言ヒマスカ、是ハ餘程御研究ヲ願

ハナケレバイカヌ問題デハナイカト思ヒマ

ス、是ハ其ノ位ニ致シマシテ、次ニ強制貯

蓄制度ニ付テ、大藏次官ニ御伺ヒシテ見タ

イト思ヒマス、ドウモ大藏大臣ガ時々御發

表ニナツテ居リマスル御意見ヲ、新聞紙上

デ見マスト、強制貯蓄制度ハ採用シナイト

云フ風ニ、了解シテ宜イノデアリマセウカ

○廣瀬政府委員 仰セノ通りデアリマシテ、現時局ニ

強制貯蓄ト云フ制度ハ、政府トシテハ採用

シナイ積リデ居リマス

○駒井委員 私ハ強制貯蓄制度ニ付テハ、

尙ホ一考シテ戴キタイト思フノデアリマス、

現在ノ状態ニ於テ強制貯蓄制度ヲ布カレル

ナラバ、大シタ影響ハナイノデハナイカ、

併シ一層公債消化が困難ニナツテ來ルトカ、

色々金融事情ノ逼迫ヲ來スト云フヤウナ場

合ニ、此ノ強制貯蓄制度ヲ採用シヨウトナサ

ツテモ、非常ナ危険ヲ伴フモノデハナイカ

ト思フノデアリス、強制貯蓄制度ト申シマ

ツテ貯蓄ガ行ハレルコトガ、最モ此ノ際ノ

シテモ、例ヘバ國稅ノ何割ヲ強制貯蓄セセ

ル、併シ特別ノ理由ノアルモノニ對シテ

ハ、引出シヲ認メルトカ緩和ノ方法ハアル

ト云フコトニ付キマシテ、一遍

デハハツキリシタ考ヘハ持ツテ居ラナイノ

デアリマス、尙ホ現金取引ヲ要スル取引方

法ト云フモノガ、今後ドノ程度マデ擴張サ

ルベキカト云フヤウナコトモ、見据エタ上

云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○駒井委員 是ハ中々難カシイ問題デ、信

用取引ノ限度ト言ヒマスカ、或ハ現金取引

ノ限界ト言ヒマスカ、是ハ餘程御研究ヲ願

ハナケレバイカヌ問題デハナイカト思ヒマ

ス、是ハ其ノ位ニ致シマシテ、次ニ強制貯

蓄制度ニ付テ、大藏次官ニ御伺ヒシテ見タ

イト思ヒマス、ドウモ大藏大臣ガ時々御發

表ニナツテ居リマスル御意見ヲ、新聞紙上

デ見マスト、強制貯蓄制度ハ採用シナイト

云フ風ニ、了解シテ宜イノデアリマセウカ

○廣瀬政府委員 仰セノ通りデアリマシテ、現時局ニ

強制貯蓄ト云フ制度ハ、政府トシテハ採用

シナイ積リデ居リマス

○駒井委員 私ハ強制貯蓄制度ニ付テハ、

尙ホ一考シテ戴キタイト思フノデアリマス、

現在ノ状態ニ於テ強制貯蓄制度ヲ布カレル

ナラバ、大シタ影響ハナイノデハナイカ、

併シ一層公債消化が困難ニナツテ來ルトカ、

色々金融事情ノ逼迫ヲ來スト云フヤウナ場

合ニ、此ノ強制貯蓄制度ヲ採用シヨウトナサ

ツテモ、非常ナ危険ヲ伴フモノデハナイカ

ト思フノデアリス、強制貯蓄制度ト申シマ

ツテ貯蓄ガ行ハレルコトガ、最モ此ノ際ノ

シテモ、例ヘバ國稅ノ何割ヲ強制貯蓄セセ

ル、併シ特別ノ理由ノアルモノニ對シテ

ハ、引出シヲ認メルトカ緩和ノ方法ハアル

ト云フコトニ付キマシテ、一遍

デハハツキリシタ考ヘハ持ツテ居ラナイノ

デアリマス、尙ホ現金取引ヲ要スル取引方

法ト云フモノガ、今後ドノ程度マデ擴張サ

ルベキカト云フヤウナコトモ、見据エタ上

云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○駒井委員 是ハ中々難カシイ問題デ、信

用取引ノ限度ト言ヒマスカ、或ハ現金取引

ノ限界ト言ヒマスカ、是ハ餘程御研究ヲ願

ハナケレバイカヌ問題デハナイカト思ヒマ

ス、是ハ其ノ位ニ致シマシテ、次ニ強制貯

蓄制度ニ付テ、大藏次官ニ御伺ヒシテ見タ

イト思ヒマス、ドウモ大藏大臣ガ時々御發

表ニナツテ居リマスル御意見ヲ、新聞紙上

デ見マスト、強制貯蓄制度ハ採用シナイト

云フ風ニ、了解シテ宜イノデアリマセウカ

○廣瀬政府委員 仰セノ通りデアリマシテ、現時局ニ

強制貯蓄ト云フ制度ハ、政府トシテハ採用

シナイ積リデ居リマス

○駒井委員 私ハ強制貯蓄制度ニ付テハ、

尙ホ一考シテ戴キタイト思フノデアリマス、

現在ノ状態ニ於テ強制貯蓄制度ヲ布カレル

ナラバ、大シタ影響ハナイノデハナイカ、

併シ一層公債消化が困難ニナツテ來ルトカ、

色々金融事情ノ逼迫ヲ來スト云フヤウナ場

合ニ、此ノ強制貯蓄制度ヲ採用シヨウトナサ

ツテモ、非常ナ危険ヲ伴フモノデハナイカ

ト思フノデアリス、強制貯蓄制度ト申シマ

ツテ貯蓄ガ行ハレルコトガ、最モ此ノ際ノ

シテモ、例ヘバ國稅ノ何割ヲ強制貯蓄セセ

ル、併シ特別ノ理由ノアルモノニ對シテ

ハ、引出シヲ認メルトカ緩和ノ方法ハアル

ト云フコトニ付キマシテ、一遍

デハハツキリシタ考ヘハ持ツテ居ラナイノ

デアリマス、尙ホ現金取引ヲ要スル取引方

法ト云フモノガ、今後ドノ程度マデ擴張サ

ルベキカト云フヤウナコトモ、見据エタ上

云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○駒井委員 是ハ中々難カシイ問題デ、信

用取引ノ限度ト言ヒマスカ、或ハ現金取引

ノ限界ト言ヒマスカ、是ハ餘程御研究ヲ願

ハナケレバイカヌ問題デハナイカト思ヒマ

ス、是ハ其ノ位ニ致シマシテ、次ニ強制貯

蓄制度ニ付テ、大藏次官ニ御伺ヒシテ見タ

イト思ヒマス、ドウモ大藏大臣ガ時々御發

表ニナツテ居リマスル御意見ヲ、新聞紙上

デ見マスト、強制貯蓄制度ハ採用シナイト

云フ風ニ、了解シテ宜イノデアリマセウカ

○廣瀬政府委員 先程御答へ致シマシタヤ

ウニ、只今政府ト致シマシテハ、制度トシ

テハ納稅組合ト云フモノガ、全國のニ行ハ

レナリ方針デアリマスコトハ申上ガタ通り

デアリマスガ、併シ御承知ノヤウニ、今日

國民的運動トシテ、例ヘバ納稅ニ關シマシ

テハ納稅組合ト云フモノガ、全國のニ行ハ

レナリ方針デアリマスコトハ申上ガタ通り

ウニ思ハレルゾデスガ、政府デ監督サレマ
スト、色々経費モ掛ツテ來ル、ソレニ對
シテ其ノ經費ノ一部シカ補助金トカ、獎勵
金トカ云フモノヲヤラナイヤウニシマスト、
後ノ經費ト云フモノハ、組合員ノ負擔ニナ
リマスガ、ドウデゴザイマスカ

○栗原政府委員 只今ノ貯蓄組合ノ經費ノ
狀況ニ付キマシテ、簡單ニ申上ダマスト、
貯蓄組合ノ斡旋ハ、主トシテ組合長ノ奉仕
ト申シマスカ、組合員カラ經費ヲ徵收シナ
イ、大體ニ於キマシテ組合長ハ、自辨シテ
居ルト云フ者ガ多イノデゴザイマス、勿論
組合ニ依リマシテハ、町内會ノ組合デアル
トカ、或ハ部落會ノ組合デアルトカ、隣組
ノ組合デアルトカ、又ハ會社ニ於テ組織シ
テ居ル組合デアルトカ云フヤウナ種類ノモ
ニアリマシテハ、ソレ等ノ方面カラ經費
支出ハナシ得ルノデゴザイマシテ、サウ
云フ方面ハ適當ニソレノ途カラ經費ヲ
支辨シテ居ルノデゴザイマス、大體ニ於キ
マシテ組合員カラ、是ガ爲ニ經費ノ徵收ヲ
スルト云フコトハ餘りナイヤウニ存ジテ居
リマス、尤モ此ノ多數ノ組合ノ中ニハ色々
ノ方法ガアルノデアリマスカラ、或ハ組合
上ダマシタヤウナ狀況デゴザイマス、併シ
ナガラ政府ガ此ノ法律ニ依リマシテ特別ノ
監督ヲシ、又種々ノ帳簿ノ備付、又ハ報告
ヲ取ルト云フコトニ相成リマシテ、自然ニ
ソレ等ニ對スル經費ト云フモノモ、要ス
ルコトニナルト思フノデアリマス、併シ
ナガラ大體ニ於キマシテハ、從來適當ニ經
理シテ居リマシタモノヲ、繼續シテ行クヤ
ウニナルカト思フノデアリマス、此ノ補助

金ヲ與ヘマス方法等ニ付キマシテハ、詳細
ニ研究ヲ致シテハ居リマスガ、大體ニ於キ
マシテ從來ノ經費ノ支辨方法ヲ、適當ニヤ
ツテ居ルモノニ向ヒマシテハ、成ベクソレ
ニ據ラシメテ、サウシテ部落會デアルトカ、
町内會デアルトカ云フヤウナ方面ニ、補助
金ヲ支給スルト云フヤウナコトヲ、考ヘテ
居ルノデゴザイマス

○駒井委員 ドウモ國民貯蓄組合ヲ組織シ
タ爲ニ、各人ガ其ノ經費ヲ負擔シナケレバ
ナラストカ、幾分デモ餘計ナ出費ヲシナケ
レバナラスト云フコトデハ、困ルノデハナ
イカト私ハ思フ、是ハ何トカ組合ノ經費位
ハ收入ノ上ダ得ル途ヲ考ヘテオヤリニナラ
ナケレバナラナイノデハナイカト思フノデ
アリマスガ、其ノ點ハドウ云フヤウニ御考
ヘデセウカ

○廣瀬政府委員 組合ニ對スル補助金、獎
勵金ヲ政府ハ今度初メテ計上スルコトニ致
シタノデアリマス、併シ大體此ノ國民貯蓄
組合ト云フモノハ、事變以來出來テ居ルノ
デアリマスガ、例ヘバ大會社、工場アタリ
デ拵ヘテ居リマス貯蓄組合ト云フヤウナモ
ノハ、ソレハ大體ニ於テ其ノ貯蓄組合ヲ結
成スルニ要スル經費ノ程度ハ、負擔スル能
力ガアルノデハナイカ、サウ云ツタヤウナ
所マデ、政府ハ特ニ補助金ヲ出スト云フ必
要ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、一方
ニ於キマシテ、例ヘバ貯蓄債券ヲ無料デ預
カル、此ノ無料デ預カルト云フ裏面ニ於キ
マシテハ、政府ニ於テ非常ニ經費ガ要ルノ
デアリマス、併シは別途政府ノ方デ負擔
致スノデアリマシテ、サウ云ツタヤウナ方
面カラ政府モ負擔ハ致シマスケレドモ、併
シナガラ組合結成其ノモノニ對スル經費ト

云フモノハ、原則トシテハ組合ノ方デハ從
來モ持ツテ貰ツテ居ルノデアリマスルカラ
マシテ從來ノ經費ノ支辨方法ヲ、適當ニヤ
ツテ居ルモノニ向ヒマシテハ、成ベクソレ
ニ據ラシメテ、サウシテ部落會デアルトカ、
町内會デアルトカ云フヤウナ方面ニ、補助
金ヲ支給スルト云フヤウナコトヲ、考ヘテ
居ルノデゴザイマス

○駒井委員 ドウモ國民貯蓄組合ヲ組織シ
タ爲ニ、各人ガ其ノ經費ヲ負擔シナケレバ
ナラストカ、幾分デモ餘計ナ出費ヲシナケ
レバナラスト云フコトデハ、困ルノデハナ
イカト私ハ思フ、是ハ何トカ組合ノ經費位
ハ收入ノ上ダ得ル途ヲ考ヘテオヤリニナラ
ナケレバナラナイノデハナイカト思フノデ
アリマスガ、其ノ點ハドウ云フヤウニ御考
ヘデセウカ

○廣瀬政府委員 組合ニ對スル補助金、獎
勵金ヲ政府ハ今度初メテ計上スルコトニ致
シタノデアリマス、併シ大體此ノ國民貯蓄
組合ト云フモノハ、事變以來出來テ居ルノ
デアリマスガ、例ヘバ大會社、工場アタリ
デ拵ヘテ居リマス貯蓄組合ト云フヤウナモ
ノハ、ソレハ大體ニ於テ其ノ貯蓄組合ヲ結
成スルニ要スル經費ノ程度ハ、負擔スル能
力ガアルノデハナイカ、サウ云ツタヤウナ
所マデ、政府ハ特ニ補助金ヲ出スト云フ必
要ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、一方
ニ於キマシテ、例ヘバ貯蓄債券ヲ無料デ預
カル、此ノ無料デ預カルト云フ裏面ニ於キ
マシテハ、政府ニ於テ非常ニ經費ガ要ルノ
デアリマス、併シは別途政府ノ方デ負擔
致スノデアリマシテ、サウ云ツタヤウナ方
面カラ政府モ負擔ハ致シマスケレドモ、併
シナガラ組合結成其ノモノニ對スル經費ト

云フモノハ、原則トシテハ組合ノ方デハ從
來モ持ツテ貰ツテ居ルノデアリマスルカラ
マシテ從來ノ經費ノ支辨方法ヲ、適當ニヤ
ツテ居ルモノニ向ヒマシテハ、成ベクソレ
ニ據ラシメテ、サウシテ部落會デアルトカ、
町内會デアルトカ云フヤウナ方面ニ、補助
金ヲ支給スルト云フヤウナコトヲ、考ヘテ
居ルノデゴザイマス

○駒井委員 ドウモ國民貯蓄組合ヲ組織シ
タ爲ニ、各人ガ其ノ經費ヲ負擔シナケレバ
ナラストカ、幾分デモ餘計ナ出費ヲシナケ
レバナラスト云フコトデハ、困ルノデハナ
イカト私ハ思フ、是ハ何トカ組合ノ經費位
ハ收入ノ上ダ得ル途ヲ考ヘテオヤリニナラ
ナケレバナラナイノデハナイカト思フノデ
アリマスガ、其ノ點ハドウ云フヤウニ御考
ヘデセウカ

○廣瀬政府委員 組合ニ對スル補助金、獎
勵金ヲ政府ハ今度初メテ計上スルコトニ致
シタノデアリマス、併シ大體此ノ國民貯蓄
組合ト云フモノハ、事變以來出來テ居ルノ
デアリマスガ、例ヘバ大會社、工場アタリ
デ拵ヘテ居リマス貯蓄組合ト云フヤウナモ
ノハ、ソレハ大體ニ於テ其ノ貯蓄組合ヲ結
成スルニ要スル經費ノ程度ハ、負擔スル能
力ガアルノデハナイカ、サウ云ツタヤウナ
所マデ、政府ハ特ニ補助金ヲ出スト云フ必
要ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、一方
ニ於キマシテ、例ヘバ貯蓄債券ヲ無料デ預
カル、此ノ無料デ預カルト云フ裏面ニ於キ
マシテハ、政府ニ於テ非常ニ經費ガ要ルノ
デアリマス、併シは別途政府ノ方デ負擔
致スノデアリマシテ、サウ云ツタヤウナ方
面カラ政府モ負擔ハ致シマスケレドモ、併
シナガラ組合結成其ノモノニ對スル經費ト

○栗原政府委員　御説ノヤウニ、三千圓ヲ
超エタ場合ニハ、免稅ヲシナインゾゴザイ

セウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ
○相田政府委員 現在ノ所サウ云フ申込ハ
ゴザイマセヌ、ト申シマスノハ、比ノ才園

○廣瀬政府委員 現在ニ於キマシテハ、財團法人國民更生金庫ガアリマスガ、今回提案致シマシタ法律ニ依リマシテ、之ヲ更ニ

イ建前ニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ
方ノ具體的ナ手續ガ未ダニ出來テ居ナイト
云フロトノ爲ニ、今日マデ利用ナノカワ

○駒井委員 ソレハ三千圓ノ限度ニ於テハ
免稅ヲスルトカ何トカ、サウ云フヤウニ考
ヘラレナイモノデアリマセウカ、三千一圓ニ
ナレバ、其ノ場合ニハ全然免稅ハ受ケラレ
ナイ、斯ウ云フコトデアリマスカ

法人國民更生金庫ノ業務ノ方針ト致シマシテモ、此ノ法案ニ依ル國民更生金庫ト全然同一ニ考ヘ居ルノデアリマシテ、此ノ財團法人國民更生金庫ヲ利用シ得ル轉廢業者ト申シマスモノハ、政府又ハ商工業組合等

特殊法人ニ受繼ガセヨウト云フ譯デアリマス、是ハアノ當時ノ沿革ヲ想ヒ起シテ戴ケバ、御分リ下サルコトト思フノデアリマスケレドモ、昨年ノ秋頃デアリマシタガ、各般ノ事情カラ致シマシテ、中小商工業者方

タノデアリマスガ、モウ評價委員會モ出來
マシタシ、是カラハ段々出テ來ルト思ヒマ
スガ、私ハ寧ロ國民更生金庫ガ繁昌スルコ
トハ、ソンナニ喜フベキコトデハナイダラ
ウト思フノデアリマス、詰リ轉廢業者デア

○栗原政府委員 三千圓ヲ基準ト致シマシテ、此處マデハ免稅ヲシテ、三千一圓トナツタ場合ニハ、ソレヲ超エタ分カラ課稅スルコドニシテハ、ドウカト云フ御意見アリマスガ、現行稅法ニ依リマスト、貯蓄銀行、産業組合、商業組合等ノ預貯金ニ付キマシテハ、元本三千圓以下ノモノダケハ非課稅ノ取扱ニナツテ居ルノデゴザイマス、斯様ナ行キ方ガアルノデゴザイマシテ、三千圓以下ノ部分ヲ非課稅ト致スコトニシマスト、只今御説ノアリマシタヤウナ結果方に生ジテ參ルノデゴザイマス、併シナガラ此ノ法律ニ掲ゲマシタ趣旨ハ、大體ニ於キマシテ零細ナル貯蓄ヲナスモノニ付キマシテ、特殊ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトデゴザイマスカラ、元本三千圓ヲ超ユルモノニ付キマシテハ、免稅ヲシナイト云フ建前ヲ執ツタノデゴザイマス

ノ斡旋ニ依リマシテ、轉廢業ノ計畫ヲ樹立致シタモノニ限ルヤウニナツテ居リマスノデ、此ノ業者ノ側ニ於ケル轉廢業計畫方、中々困難ナ事業デアリマシテ、進捗致シマセヌ爲ニ、自然國民更生金庫ノ仕事モナイト云フ状態デアリマスガ、併シ最近數種ノ事業ニ付キマシテ、轉廢業計畫モ相當進捗致シテ居ルヤウデアリマスカラ、軽テ申込ガ出テ來ルモノト考ヘテ居リマス。

○駒井委員 ドウモ國民更生金庫ノ業務ト云フモノハ、一寸疑問ガアルノデハナイ力ト私ハ思フノデアリマス、ソレハ現在ノ財團法人ノ更生金庫ニモ、餘り申込ガナイト云フヤウナ状態デアル、成程御趣旨ハ大變結構デアリマスケレドモ、實際問題トシテ斯ウ云フコトヲ依頼スル人ガ、ソンナニ澤山アルダラウカト云フコトガ一寸考ヘラレル、實際ニ力ノアルモノナラバ、國民更生金庫ノ御厄介ニナラナクテモ轉廢業ハ出來ル、力ノナイモノニ對シテ一體下レダケワ援助ニナルノカト云フコトガ、一番ノ問題デアラウト私ハ思フノデアリマス、是ハ大變宜イコト思ヒマスケレドモ、實際問題トシテ國民更生金庫ノ業務ガ、非常ニ大半ナ成績ヲ擧ゲルト云フコトハ、一寸考ヘラレナイヤウナ氣ガスルノデスガ、此ノ點ニ付テ一つ御意見ヲ伺ヒマス

面ニハ相當ノ轉廢業者ヲ生ズル状況デアツ
タノデアリマス、ソコテ政府ト致シマシテ
リマスカラ、是ガ對策ト致シマシテ、一方
ニ於テハ轉廢業者ヲシテ、更ニ新シク職業
ニ轉廢業スルノニ、成ベク資金のニ圓滑
ヲ得サセル爲ノ指導所ヲ拵ヘル、ソレカラ
又一面ニ於テ轉廢業者ヲシテ、從來ノ業務
カラ轉廢業スルノニ、成ベク資金のニ圓滑
ニ轉廢業ガ出來ルヤウナ措置ヲ講ジナケ
レバナラヌト云フコトカラ致シマシテ、
一ツノ案トシテ、職業指導所ト云フモノヲ
一方ニ於テ拵ヘマスト同時ニ、金融機關ヲ
拵ヘナケレバナラヌト云フコトカラ致シマ
シテ、此ノ國民更生金庫ト云フモノヲ必要
トシタ譯デアリマス、ソレデ更生金庫ハ相
當早ク出來タ譯デアリマスシ、其上融資命令
モ既ニ致シテ居リマス、又職業指導所モ東
京、大阪ニハ近イ内ニ出來ルト思フノデア
リマス、問題ハ此ノ國民更生金庫ヲ利用ス
ベキ人ガ、具體的ニ今日マデ現ハレテ來ナカ
シタヤウニ、商工省方面ノ手續ニ於テ、色
色慎重ヲ期シテ居ラレマス爲ニ、從來轉廢
業者ノ資産ノ評價ト云フモノヲ致サナケレ
バ、サウ云ツタヤウナコトノ手續ノ濟ンダ
モノデナケレバ、國民更生金庫ハ扱ハナ

リ、國民更生金庫ヲ利用シナケレバナラヌ
人ガアツタ場合ニハ、政府ハソレヲ無制限
ニ幾等デモ引受ケル、併シナガラ決シテ政
府ハサウ云フ人ガ出テ來ルコトヲ望ム譯デ
ハナイノデアリマス、成ベクナラバ少イ方
ガ宜イノデアリマシテ、更生金庫ヲ利用シ
ナイデ、轉廢業出來ル人ガアレバ、尙ホ更
結構デアリマスガ、已ムヲ得ズシテ出來ナ
イ人ガアレバ、是ハ無條件、無制限ニ更生
金庫ノ方デ引受ケル、其ノ準備ハ出來ルダ
ケ早イ方ガ宜カラウト云フコトカラ、法律
ノ出マス前ニ於キマシテモ、準備ダケハ整
ヘテ置キマシタシ、融資命令モ發シタト云
フヤウナ準備ヲシテ置不タノデアリマスガ、
是ダケデモ私ハ轉廢業ノ已ムヲ得ナイ運命
ニアル人達ニ、相當安心ヲ與ヘテ居ルト思
フノデアリマス、併シ決シテ政府トシテハ、
轉廢業者ノ利用者ノ多キコトヲ望ンデ居チ
イコトダケハ、御諒承願ヒタイト思ヒマス
○駒井委員 私ノ案ジマスコトハ、第十七
條ノ第二號或ハ第三號ノ資金ノ融通、債務
ノ引受又ハ保證ト云フコトガ一番大切ナ點
デ、一體無資産ノ轉廢業者ニ對シテハ、下
レ位ノ程度ノ資金ノ融通ヲシテ戴ケルノデ
スカ

○駒井委員 組合法案ノ方ハソレダケニシテ、國民更生金庫ニ付テ、少し御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、先日來相田銀行局長カラ、現在ノ財團法人國民更生金庫ノ實情ニ付テ、御話ガアツタサウデアリマスガ、現在マデ一ツノ貸出モナイト云フコトヲ先程伺ヒマシタ、ソレデ一體借入ノ申込トカ、其ノ他資產ノ管理又ハ處分ノ依頼ト云フモノヘ、現在ノ財團法人國民更生金庫ニアルノデ

金庫ノ御厄介ニナラナクテモ轉廢業ハ出來ル、力ノナイモノニ對シテ一體下レダケノ援助ニナルノカト云フコトガ、一番ノ問題デアラウト私ハ思フノデアリマス、是ハ大變宜イコト思ヒマスケレドモ、實際問題トシテ國民更生金庫ノ業務ガ、非常ニ大キナ成績ヲ擧ゲルト云フコトハ、一寸考ヘラレナイヤウナ氣ガスルノデスガ、此ノ點ニ付テ一つ御意見ヲ伺ヒマス

リマス、問題ハ此ノ國民更生金庫ヲ利用スベキ人ガ、具體的ニ今日マデ現ヘレテ來ナカツタト云フコトデアラウト思フノデアリマスガ、是ハ只今相田政府委員カラ申上ゲマシタヤウニ、商工省方面ノ手續ニ於テ、色々慎重ヲ期シテ居ラレマス爲ニ、從來轉發業者ノ資產ノ評價ト云フモノヲ致サナケレバ、サウ云ツタヤウナコトノ手續ノ濟ンダモノデナケレバ、國民更生金庫ハ扱ハナ

○駒井委員 私ノ案ジマスコトハ、第十七條ノ第二號或ハ第三號ノ資金ノ融通、債務ノ引受又ハ保證ト云フコトガ一番大切ナ點デ、一體無資產ノ轉廢業者ニ對シテハ、ドレ位ノ程度ノ資金ノ融通ヲシテ戴ケルノデスカ
○相田政府委員 此ノ國民更生金庫ノ仕事
トシテ、十七條ノ二號デ考ヘて居リマスコ

トハ、第一號ノ方デ資產ノ管理處分ヲ引受ケマシテ、其ノ處分代金ヲ擔保乃至見返リトシマシテ、其ノ處分代金ヲ擔保乃至見返リトシマシテ、其ノ前ニモ出シヤウガナイノデアリマス、併シ實際問題トシテハ、今マデ商工業ニ從事シテ居ツタ者デアレバ、其ノ店舗トカ、工場トカ、「トラック」トカ、サウ云フ營業用ノ動産、不動産ハ必ズアラウト思ヘマスノデ、サウ云フモノハ昨日モ申シマシタヤウニ、營業ヲ繼續スルモノトシテノ評價額ニ依ツテ、特ニ普通ノ金融ト違ツタ多額ノ金融ヲシヨウト云フコトニナツテ居ル譯デアリマス

○駒井委員 今ノ銀行局長ノ御説明デ、ハツキリシタノデスガ、ソレデハ中々申込方ナイヤウニナリハシナイカ、實際困ツテ居テモ、無資産ナ者ニハ貸シテヤラヌノト云フコトデハ、ドウモ國民更生金庫ノ設立ノ本旨ニ副ハナイノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ無資産ノ者ハ澤山アルト思フノデス、店舗モ借り物デアル、「トラック」モ借りテ商賣シテ居ル、家モ土地モ皆借り物デアツテ、廢メテシマヘバ自分ノ物ハ何モノイト云フ人々モ幾ラモアル、サウ云フ者ニ對シテハ、只今ノ御説明ニ依ルト、救濟ノ手ハ伸ビナイト云フコトニナリハシナイデセウカ、兎モ角營業權ト云フ、一ツノ權利ニ對シテ、之ヲ何トカ生カシテ融通シテヤルコトデ、國民更生金庫ノ仕事が成立ツテ行クノデハナイカト思フノデアリマスガ、其ノ點ヲ一つ伺ヒタイ

助スル、又ハ其ノ持ツテ居ル負債ノ償還ニ付テ、援助スルコトガ趣旨ニナツテ居リマスガ、假ニ無資産ノ者ガアリマシテモ、此ノ更生金庫ニ持ツテ參ル前ニ、一應之ニ所屬ノ組合ニ於テ、共助的ニ何等カノ給付ヲサセルト云フコトガ建前ニナツテ居リマス、ソレデ例ヘバ商業組合ナラ商業組合ニ於テ、其ノ轉廢業セントスル者ノ營業權——此ノ言葉ガ善イカ惡イカハ一寸疑問デゴザイマスガ、其ノ營業權ト云フヤウナモノヲ評價シテ、ソレニ對シテ其ノ組合トシテ共助的ニ或ル給付ヲスル、例ヘバ一時金ノ交付ヲスルト云フヤウナコトニ依ツテ、轉廢業資金ノ足シニサセルト云フヤウニ、業者ヲ指導シテ參ル方針デ居リマス、ソレデ無資産者デアリマシテモ、サウ云フ方面ニ於テ可ナリノ救濟ハ受ケラレルデアラウト考ヘテ居リマス

サセル對策ト、此ノ更生金庫ト云フモノハ、密接不離ノ關係ト提携ヲ持タナケレバナラナイノデアリマス、商工大臣ハヨク中小商工業者ノ維持育成ト云フコトヲ言ハレマスガ、之ニ付テハ商工大臣ニ對シテ相當強ク質問シタイト思ツテ、昨日モ保留シテ置キマシタガ、此ノ維持育成ト云フヤウナ問題ハ、此ノ更生金庫ノ活動如何ニ依ツテハ、或ル程度出來ルカモ知レマセヌガ一體此ノ申上ゲル一番多ク失業者ヲ出ス、所謂無資使者ノ救濟ニ付テハ、ドウシテモ此ノ營業權者ニアルノデアリマス、ソユデ先程カラニ申上ゲル一萬多ク失業者ヲ出ス、所謂無資使者ノ救濟ニ付テハ、ソレニ相當ナ給付ヲヤル、今ノ振興部長ノ御話デハ、ソレハ商業組合ガ負債償還計畫、或ハ轉業資金ノ貸付計畫ト云フヤウナモノヲ組合員ノ爲ニ立テル、ソコデ其ノ組合員ノ中デ轉業スル者ガアルナラバ、其ノ營業權ガナクナルノデ、其ノ人數ノ減ツタダケ、營業權ガ残サレタ人ニ非常有利ニナルノデアリマスカラ、此ノ場合ニ於ケル給付金ト云フモノヲ、共助ノ精神云組合ガ出スト言ハレル、ケレドモ一體商組合ニハ共助デ出スヤウナ資金ハアルモノデハナインヂス、アルト言ハレルナラバ、カラ出セバ宜イカ、十人ノ米屋ガ居テ、ソレガ企業合同デ五人轉業シテ、五人ガ殘ルコトニナレバ、五人ガ營業權ヲ擲棄シタムニ、其ノ利益ガ残ツタ者ニ行クノデアリマス、スカラ、私ハ此ノ殘ツタ存續營業者カラ、相当ノ金ヲ出サセテ宜イト思フノデアリマス、當レ以外ニハ方法ハナイノデス、金ハ商業

組合ニハナイ、ソレヲサウ云フ合会ニ御考
ヘニナルコトハ出來ナイノカ、モウ一ツハ
金庫トノ關係ノ組合ノ互助ノ立場カラ給付ス
ルト云フ、其處ヲモウ少シ詳シク説明シテ
戴キタイト思フノデアリマス
○堀政府委員 御答へ致シマス、商業組合
ナラ商業組合ニ於キマシテ、十人ノ業者ガ相
當ノ利益ヲ受ケルヂヤナイカ、ソレダカラ
其ノ殘ツタ者カラ金ヲ出サセタ方ガ宜イヂ
ヤナイカト云フ御考へハ、其ノ通リニ私共
モ考ヘテ居リマス、ソレデ先程申上ゲマシ
タ給付金ノ如キモ、若シ轉廢業者ノ状況ガ
許スモノデアルトスルナラバ、殘ツタ業者
ハ其ノ利潤ノ中カラ月々、年々幾分カヅツ
相當期間轉廢業シタ人ニ、常ニ給付スルト
云フコトデ宜シト思フノデアリマス、併
シ轉廢業者ガ全然資産ガナクテ、仕事ヲ止
メテシマヘバ明日カラ困ルト云フヤウナ場
合ニハ、定期的ナ給付デハ間ニ合ヒマセヌ
ノデ、其ノ際ハヤハリ一時資金ヲ交付スル
方法ヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、其
ノ金ハ商業組合ニ於テ調達シテ、ソレヲ給
付スル、唯其ノ場合ニ於キマシテ商業組合
トシテモ、是ハ相當ノ負擔ニナリマスノ
デ、其ノ調達シマシタ金ニ對スル利子ダケ
ハ、政府ノ方デ補給スルコトヲ考ヘマシ
テ、今回ソレニ必要ナル豫算ヲ、追加豫算
トシテ要求シテ居ルヤウナ次第デアリマス
○駒井委員 此ノ第十七條ノ書キ方ハ是ダ
ケヲ見マスト、今ノ御説明ノヤウニ一寸解
釋シ兼ネルヂヤナイカト思フ、第二號ニ「轉
業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ノ爲ニスル資
金ノ融通」ト單ニ書イテアリマシテ、此ノ第
一號ヲ資産ノ管理又ハ處分ヲ委託シタモノ

ニ對スル資金ノ融通、斯ウ云フ風ニ御解釋

ノヤウデスネ

○相田政府委員 第十七條ノ第一項ダケ御

覽ニナリマスト、一寸御分リニクイ所モア

ルカト思ヒマスガ、第十七條ノ最後ノ第三

項ニ於キマシテ「本法ニ規定スルモノノ外

國民更生金庫ノ業務ニ關スル必要ナル事項

ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマシテ勅令

ニ依ツテ尙ホ是レ以上詳シイコトヲ決メタ

イト思ツテ居ル次第ゴザイマス、先程申

上ゲマシタコトハ、其ノ勅令ニ規定シタイ

ト思ツテ居ルコトヲ、大體申上ゲタノデゴ

ザイマス

○駒井委員 國民更生金庫ノ業務ニ付テ

ハ、中々難カシイ解釋ノヤウデスガ、今ノ

御答辯デアルト結局、資產ガナイ者ハ、之

ニ依ツテハ救濟ガ出來ナイコトニナルヤウ

ト思ツテ居ルコトヲ、ソレデハ國民更

生金庫ハ、殆ド實際ノ役ニ立タナイノデハ

ナイカ、資產ガナクテ負債バカリアル人モ

アル、サウ云フ者ニ對シテモ、何トカ救濟

ノ手段方法ヲ講ジテ行カナケレバナラヌノ

デハナイカ、資產ガナケレバ負債ノ整理モ

シテヤラナシ、更生金庫ノ融通モ出來ナ

イト云フコトニナルト、更生金庫ノ業務ノ

範圍ハ、非常ニ狹ク小サイモノニナルシ、

實際問題トシテモ、相當資金ノアル者ハ自

分ノ手デ整理モ出來、更生金庫ノ手ヲ煩

ハスマデモナイト云フ者ガ多イノデヤナイ

カ、ダカラ無資產デアル者、或ハ資產ガナ

クテ負債ノアル者ニ對シテモ、國民更生金

庫ガ何トカ力ヲ借シテヤルヤウナ組織ニシ

ナケレバナラヌノデヤナイカト思フノデア

リマスガ、其ノ點ノ御意見ヲ伺ヒマス

○相田政府委員 一應私カラ御答ヘ申上ゲ

マス、先程駒井委員ノ御引例ニナリマシタ

コトハ、家ハ借家デアリ、「トランク」ハ借

物デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ

モ、多少ノ動産ト云ツタヤウナモノハ、ヤ

ハリアルカト思ハレマスルノデ、サウ云フ

場合デスト、轉廢業者資產評價委員會ニ於

テ、適當ニ營業權的ノモノヲ加味シテ評價

サレマシテ金庫ニ送ラレマスレバ、金庫ト

シテハソレニ貸出スコトガ出來ルト思ヒマ

ス、併シ結局ノ所此ノ金庫ノ目的ハ、不

用ニナツタ舊營業用ノ資產ノ有利ナル換

價、且ツ實際ニ換價サレルノヲ待タナ

イデ、ソレマデニ金ヲ出スト云フコトヲ、ソ

目的トシテ居ルノデアリマス、ソレダケデ

ハ轉業對策ニ甚ダ不十分ノヤウニ考ヘラレ

マスガ、併シ國民更生金庫ダケガ、唯一ノ轉

廢業對策ニハゴザイマセヌノデ、尙ホ此ノ

外ニ先程振興部長カラモ答ヘラレタ通り、

當業者ノ組合ノ給付ト云フモノモアリマス

シ、尙ホ既設ノ各種ノ金融機關、例ヘバ庶

民金庫トカ、商工組合中央金庫ノ系統機關

ト云フモノデ、轉業資金ヲ出スト云フコト

モ考ヘラレマスシ、又政府ガ轉業資金ニ付

テ、損失補償ヲ付ケテヤツテ居ルモノモゴ

ザイマスノデ、サウ云フモノモ利用シ、結

局各般ノ施設ヲ綜合利用シテ、轉廢業ノ圓

滿ニ遂行サレルコトヲ期シタイ、斯ウ云フ

趣旨ゴザイマス、國民更生金庫ハ其ノ澤

山ノ施設ノ中ノ一ツデアルト云フ風ニ御諒

解ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

タヤウナ全然無資產ト云フ者モ、大勢ノ中

ニハアルカモ知レマセヌガ、大體ハ何ガシ

カノ物ハアルダラウ、例ヘバ家ハ借りテ

居ツテモ、商賣道具ト言ヒマスカ、若干ハ自

分ノ物ハアルダラウ、ソレヲ單純ニソレダ

ケトシテ見マスレバ、謂ハバ捨值ニナル譯

デアリマスガ、ソレヲ營業ヲ繼續スル場合

ニ於テハ、ドノ位ノ値打ガアルカト云フヤ

ウニ見テ行カウ、鬼モ角モ原則トシテハ何

ガシカアルト云フコトヲ、更生金庫法ニ於

テハ、先ツ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレ

カラ先程債務超過ノ場合ハドウスルノダト

云フ御話デアリマスガ、ソレハ本條ニ於

テ「債務ノ引受又ハ保證」ト云フ所デ豫想シテ

居リマス、デアリマスカラ、是モ無制限ト云

フコトハアリマセヌガ、適當ニ評價委員會

等ニ於テ決定スル譯デアリマス、其ノ前ノ

職業ニ關係シタ債務デアリマシテ、債權ヨ

リモ債務ガ餘計アツタ云フヤウナ場合ニ

於テハ、其ノ超過シタ債務ノ範圍ニ於テ、

金庫ガ債務ノ引受又ハ保證ヲ致シマス、ソ

レハミスノデ、損ニナルダラウト云フコトガ

分ツテモ、此ノ金庫ハ引受ケル、保證ヲス

ルト云フコトヲ建前ト致シテ居リマス、ソ

レニ依ツテ大體ハ救ハレルト云フ風ニ考ヘ

テ居ル譯デアリマシテ、全然手ブランノ人ト

云フコトハ、ドウモ餘リ考ヘテ居ナカツタ

ノデアリマス

○相田政府委員 先づ初メノ御尋ネニ對シ

テ申上ゲマスガ、此ノ資金ノ融通ヲ致シ、

或ハ債務ノ保證、或ハ債務ノ引受ヲシマス

ノハ、是ハヤハリ先程私ガ申上ゲマシタヤ

アリマスガ、何カ此ノ金額ニ付テハ根據ガ

アルデセウカ

○相田政府委員 先づ初メノ御尋ネニ對シ

テ申上ゲマスガ、此ノ資金ノ融通ヲ致シ、

或ハ債務ノ保證、或ハ債務ノ引受ヲシマス

ノハ、是ハヤハリ先程私ガ申上ゲマシタヤ

アリマスガ、何カ此ノ金額ニ付テハ根據ガ

アルデセウカ

○相田政府委員 先づ初メノ御尋ネニ對シ

テ申上ゲマスガ、此ノ資金ノ融通ヲ致シ、

或ハ債務ノ保證、或ハ債務ノ引受ヲシマス

ノハ、是ハヤハリ先程私ガ申上ゲマシタヤ

アリマスガ、何カ此ノ金額ニ付テハ根據ガ

アルデセウカ

○相田政府委員 只今ノ相田政府委員ヨリ

ニ御答ヘニ補足シテ申上ゲマスガ、大體ノ

考ヘ方トシテハ、今駒井委員ノ御話ニナツ

クテ負債ノアル者ニ對シテモ、國民更生金

庫ガ何トカ力ヲ借シテヤルヤウナ組織ニシ

カ、ダカラ無資產デアル者、ソレヲ何トカ見テ

ヤウシテナラヌノデヤナイカト思フノデア

リマスガ、其ノ點ノ御意見ヲ伺ヒマス

○相田政府委員 一應私カラ御答ヘ申上ゲ

務ノ引受又ハ保證ヲシテヤラウ、斯ウ云フ

風ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、ソレナ

ラバ大分利用ノ範圍ガ擴マル譯デスガ、ド

ウモ銀行局長ノ言ハレルヤウニ、資產ノ管

理又ハ處分ヲ委託シタ者ダケニ貸スノダト

云フコトニナルト、非常ニ狹クナルノデ

ス、デスカラ是ハ成ベク廣ク解釋シテ戴イ

テ少シモ轉廢業者ノ助カルヤウナ方法ニ

シテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ時間ヲ

取ルヤウニナリマスカラ宜イ加減デ打切り

マスガ、六千五百万圓ト云フ補償ノ豫算ガ

アリマスガ、何カ此ノ金額ニ付テハ根據ガ

アルデセウカ

○相田政府委員 先づ初メノ御尋ネニ對シ

テ申上ゲマスガ、此ノ資金ノ融通ヲ致シ、

或ハ債務ノ保證、或ハ債務ノ引受ヲシマス

ノハ、是ハヤハリ先程私ガ申上ゲマシタヤ

アリマスガ、何カ此ノ金額ニ付テハ根據ガ

アルデセウカ

○相田政府委員 先づ初メノ御尋ネニ對シ

テ申上ゲマスガ、此ノ資金ノ融通ヲ致シ、

或ハ債務ノ保證、或ハ債務ノ引受ヲシマス

ノハ、是ハヤハリ先程私ガ申上ゲマシタヤ

アリマスガ、何カ此ノ金額ニ付テハ根據ガ

アルデセウカ

○相田政府委員 今ノ大藏次官ノ御答辯デ、大

変私ハ喜ンダノデスガ、大藏次官ノ御答辯

ニ依リマスレバ、負債超過ノ者ハ金ヲ貸シ

テヤラウ、サツキノ銀行局長ノ御答辯ト幾

ラカ違フヤウニ思フノデスガ、サウナラバ

ウシテ其ノ處分代金ヲ見返リニシテ豫メ金

ヲ貸ス、併シソレダケデハ尙ホ債務ガアツ

テ、其ノ債務ノ整理ガ出來ナイト云フ場合

ニ、今度ハ第三號ノ方で其ノ債務ノ引受又

ハ保證ヲスルノデアリマス、ソレデ結局駒

井サンノ心配シテ居ラレル點ハ、之ニ依ツテ

ウシテ其ノ處分代金ヲ見返リニシテ豫メ金

ヲ貸ス、併シソレダケデハ尙ホ債務ガアツ

テ、其ノ債務ノ整理ガ出來ナイト云フ場合

ニ、今度ハ第三號ノ方で其ノ債務ノ引受又

ハ保證ヲスルノデアリマス、ソレデ結局駒

井サンノ心配シテ居ラレル點ハ、之ニ依ツテ

ウシテ其ノ處分代金ヲ見返リニシテ豫メ金

ヲ貸ス、併シソレダケデハ尙ホ債務ガアツ

テ、其ノ債務ノ整理ガ出來ナイト云フ場合

ニ、今度ハ第三號ノ方で其ノ債務ノ引受又

ハ保證ヲスルノデアリマス、ソレデ結局駒

井サンノ心配シテ居ラレル點ハ、之ニ依ツテ

ウシテ其ノ處分代金ヲ見返リニシテ豫メ金

ヲ貸ス、併シソレダケデハ尙ホ債務ガアツ

テ、其ノ債務ノ整理ガ出來ナイト云フ場合

ニ、今度ハ第三號ノ方で其ノ債務ノ引受又

ト、或ハ資金ノ融通、或ハ其ノ他ノ號ニ規定シテ居リマス仕事ヲヤルコトニ依ツテ生ズルデアラウ所ノ損失ヲ、豫想致シテ居ルノデアリマス、更ニ此ノ外ニ御承知ノ通り經費ノ補助ニ付テヘ、別途ニ豫算外契約ニ依ツテ、補助スルコトニナツテ居ル譯デアリマス

○駒井委員 今ノ六千五百万圓デスガ、是ハ大體貸出ガドレ位ノ額ニ達シテ、大體其ノ何割位ノ缺損ガアルダラウト云フ貸出ノ總額カ何カラ抑ヘラレタノデセウカ

○堀政府委員 只今ノ六千五百万圓ト云フヤウナ數字ノ出マス經過ト致シマシテハ、先ヅドレダケ失業、轉廢業者ガ出ルカト云フコトヲ考ヘマシテ、ソレカラ各業者ノ持ツテ居リマスル設備、營業權ト云フヤウナモノヲ大體考ヘマシテ、ソレ等ヲ基礎ト致シマシテ、段々計算ガ出來ル譯デゴザイマス、所方昨日モ申上げマシタヤウニ、現實ニドレ位ノ轉廢業者ガ出ルカト云フ見透シハ、實ハ甚ダ立チニクイノデゴザイマス、ソコデ大體物動計畫ニ依リマシテ、物動物資ガドレダケ減ル、其ノ場合其ノ割合デ業者ガ假ニ減ズルモノトスレバ、ドレ位ニナルカト云フヤウナ計算ハ一通り立て得ルノデアリマス、實際問題トシマシテハ、ソレ等ノ業者ノ中、更ニ業者ノ共助ニ依リマストカ、其ノ他凡ユル手段ヲ盡シマシテ、轉廢業者ノ數ヲ減ラスコトニ努力シマスノデ、實際問題トシテハ、ソレヨリ減ル譯デゴザイマスガ、一應外梓ノヤウナモノハ計算上出テ參ルノデゴザイマス、サウ云フヤウナ計算ヲ致シマシテ、只今ノ數字ガ出テ參ル譯デアリマシテ、ソレヲ細カク申上げレバ

ヲ申上ゲマスト、結局物動計畫ニ觸レテ參リマスノデ、其ノコトハ御勘辨願ヒタイトと思ヒマス、唯出テ參ツタ徑路ハ、サウ云フコトデアツタノデアリマス、ソレダケ御承知ヲ願ヒマス

○廣瀬政府委員 振興部長カラノ御説明ニ補足致シマシテ、大藏省側トシテノ考へ方ニ付テ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、只今大體六千五百万圓ノ豫算外契約ハ、今御説明ガアリマシタヤウナ意味合ニ於キマシテ、一應計算ガ出マシタノデ、六千五百万圓ト云フコトニ御協賛ヲ願ハウト思ツテ居リマス、併シナガラは達觀的ノ數字デアリマシテ、十六年度ニ於キマシテハ、更ニ必要ガアバ宜シウゴザイマスガ、若シ足リマセヌケレバ年度内、又來年ノ今頃ノ議會ニ於テ、更ニ豫算外契約ノ追加ヲナスコトガ出來マス、來年度ニ於キマシテハ、更ニ必要ガアレバ計算ヲ致シマシテ、決シテ六千五百万圓デ済ムトハ思ツテ居リマセヌ、場合ニ依ツテハモツト多クナルコトヲ覺悟シテ居リマス、唯同時ニ大藏省ト致シマシテハ、各省ニ對シテ餘り急激ニ轉失業者ヲ出サヌヤウニシテ貰ヒタイ、何レハ各經濟政策ノ上カラ言ツテ、轉失業者ヲ生ズルヤウナコトモアルダラウケレドモ、ソレハ出來ルダケ緩慢ニ、徐々、經濟的ナ方面ニ於テモ、摩擦ヲ起サヌヤウニヤツテ貰ヒタイト云フコトハ、大藏省ノ各省ニ對シテ要請シテ居ル所デアリマス、サウ云ツタヤウナ考ヘノ下ニ尙且出マシタ場合ニ於テハ、ソレハ必要ナダケハ大藏省ト致シマシテハ、決シテソレヲ無理ニ減ラサウト云フヤウナ考ヘハナイト云フコトダケラ申上ゲテ置キタイト思

○伊東委員 只今大藏次官ノ御話デ非常ニ
安心スル點モアリマス、六千五百万圓ノ政
府補償デハ足ルマイ、尙ホ今後モ必要ニ應
ジテ増額スルト云フコトハ、ハツキリ損ス
ル、損シテモ差支ヘナイノダ、斯ウ云フ工
合ニ解釋出來ルノデアリマス、又ソレデナ
ケレバ此ノ金庫ノ本當ノ働キハ出來ルモノ
デハナインデアリマス、ソコデ先程ノ次官
ノ御話、負債ノ超過額ノ問題ニ付テモ、既
ニ超過額ガアレバ、是亦損ヲスルト云フコ
トヲ覺悟セネバナラヌノデアリマス、一體
此ノ金庫ハ初メカラ損スルノダト云フ覺悟
ガナケレバナラナイ、ソコデ私ハ此ノ本當
ノ仕事ハ商工省ノ仕事デアツテ、大藏省ノ
專管ニスルコトハイケナイ、大藏省ノ專管
ニシテ置クト、損セヌコトバカリ工夫シヤ
シナイカト云フコトヲ惧レル、商工省ノ共
管ニスルナラバ、商工省ハドンヽ轉業者
ガ出来レバ、轉業者ニ對スル相當ノ方法ヲ
講ジテ行ク、失業者ニ對シテモ斯ウシロ、
アシロト云フ風ナ具體的ナ方法デ行クノ
デ、之ヲ太藏省ノ專管ニシテ置クトコトハイ
ケナイト云フコトカラ、ドウシテモ其管ニ
スペシト云フ考ヲ持ツテ居ツタノデアリマ
ス

ソコデモウ一つ此ノ際ハツキリシテ置イ
テ戴キタイノデアリマスガ、先程來駒井委
員カラ段々御話モアルヤウニ、實際ノ所轉
業スル者、或ハ失業スル者ハ無財産ナンデ
ス、併シ商賣シテ居ル以上ハ何カアル筈ダ、
斯ウ云フ御話デアリマス、ソレハ何カアリ
マセウ、例ヘバ魚屋デアレバ庖丁一挺、金
ニ積レバ一圓カ、二圓カノモノガアリマ
セウ、或ハ菓子屋ノ行商デアルナラバ、行

シソンナモノヲ相手ニシテ評價シテ見タ所
ズ、ソレデハドウニモナラヌノデアリマ
ス、轉業スル者ハ少クトモニ一千圓乃至四、五
千圓ノ金ガナケレバ、轉業シタ所デ何モ職
ニアリ付クコトハ出來ナイ、ソコデ私ハ營
業權ト云フモノヲ、ハツキリ認メテ貰ヒタ
イト思フノデス、第十七條ノ第一項ニ「轉業
又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ノ爲ニ、スル資
金ノ融通」トアルノデアリマス、モウ一ツハ
是ハ昨日大體ノ説明ガアリマシタカラ分ツ
テ居リマスガ、之ヲ廣義ニ解釋スルナラバ、或
私ハ營業權ト云フモノヲ御認メニナツ
テ――營業權ト云フモノハ、或ヘ利益金ノ何
年分トカ云フヤウナコトニスルナラバ、或
ハ二千圓ナリ、三千圓ナリ、五千圓ナリト
云フ普通營業權ト云フモノハ何程モ持ツ
テ居ナイ、殆ド無財産デス、ダカラ營業權
ヲ認メラレルコトガ一番宜シイト思フ、ソ
コデ此ノ問題ハ第三章ノ勅令ヲ御出シニチ
ル時ニ、ハツキリサレレバ宜イ、勅令ノ中
ニ營業權ト云フモノヲ認メル、サウジテ營
業權ノ評價ハ、評價委員會ト云フモノガア
ルシ、損失ノ評定委員會モアルノデアリマ
スカラ、斯ウ云ツタ委員會デ、營業權ノ評價
ヲスルト云フコトニ致シマスコトガ一番宜
イ、營業權ヲ認メテ戴クト云フコトニナラ
ザレバ、此ノ金庫ノ本當ノ活動ハ出來得ナ
イト考ヘマスガ、是ハ御認メニナルコトニ
大體肚ノ中ハ分ツテ居リマスガ、ハツキリ
此處デ聲明シテ戴キタイ思ヒマス

方ガ宜イト思フト云フ御考ヘノヤウデアリ
マスガ、是ハ私トハ大分意見ガ違ツテ居ル
ヤウニ思ヒマス、私ハ斯様ナ仕事ハ極メテ
敏速ニヤラナケレバイカヌ、又一面ニ於テ
轉廢業ニ依ツテ生ジマシタ必要資金ノ融通
デアリマストカ、或ハ品物ノ保管デアリマ
ストカ云フヤウナコトハ、ヤハリ從來銀行
ノヤウナ手慣レタ方面ニ於テ扱ハサレルコ
トガ宜イノデハナイカ、サウ云ツタヤウナ
各方面ヲ考ヘマシテ、是ハヤハリ銀行ト同
ジヤウニ、大藏省專管ノ方ガ宜シイ、若シ
共管ト云フヤウナコトニナリマスト、御承
知ノヤウニ現在金融機關デモ共管ノモノガ
アリマス、併シナガラ共管ノモノニ付テハ、
概ネ專管ノモノヨリ事務ソ運ビガ迅速デハ
ナイト思ヒマス、デアリマスカラシテ若シ
必ズ何處カニ屬セシメナケレバナラヌ、殊
ニ商工省ガ宜イト云フナラバ、商工省ノ專
管ニシタ方ガ宜シト思ヒマス、併シ問題
ハ金融關係ノ問題デアリマスカラ其ノ限度
ニ於テ、即チドウ云フ方面ニ轉失業者ヲ出
サセルカ、出スカト云フコトニ付テハ、是
ハ商工省ノ方デ考ベキコトダト思ヒマス、
一度轉廢業者ガ出マシテ、ソレニ對シテ資
金融通ヲシナケレバナラヌト云フコトニナ
ツテ、資金ノ融通ヲ致シ、其ノ管理處分等
ヲ致シマス範圍ニ於テハ、是ハ純然タル金
融業務デハナイカモ知レマセヌガ、大體ニ
於テ金融業務ニ近イ範圍デアリマスカラ、
其ノ部分ダケニ付テハ、大藏省ガ專管スベ
キモノデアルト云フ風ニ考ヘマシテ、大藏
省ハ大藏省ノ專管ヲ主張致シテ居ルノデア
リマス、隨テ此ノ法律案ヲ提出致シタ次第
デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス、尙ホ

金庫ヲシテ債務ノ引受又ハ保證ヲナサシメタルト云フコトニナルト思ヒマス
○菊池委員長 時間モ大分遅クナリマシタ
カラ、二時マデ休憩致シマシテ、二時カラ再開致シ、駒井君ノ質疑ヲ繼續セラレルヤ
ウ御願ヒ致シマス——是デ休憩致シマス
午後零時二十二分休憩

午後二時二十三分開議

○菊池委員長 開會致シマス、休憩前ニ引
續キ質疑ヲ繼續致シマス——駒井君

○駒井委員 午前ニ色々御答辯ヲ戴イタノ
デアリマスガ、轉廢業ヲナス商工業者ト書
イテアリマスガ、此ノ中ニハ法人ハ含ムノ
デアリマセウカ

○相田政府委員 法人モ包含致シマス

○駒井委員 法人ヲ含ムト云フコトニナリ
マスト、相當大資本ノ法人ガ、時局ノ影響
ヲ受ケマシテ廢業同様ノ状態ニ陥ルト云フ
コトモ想像サレルノデアリマス、其ノ場合ニ
轉廢業ノ資金ヲ融通スルト云フコトニナル
ト、餘程多額ノ資金ヲ要スルノデヤナイン
カト思フノデアリマスガ、法人ニ對シテハ
ドレ位ノ資金ヲ要スルト云フ御見込デゴザ
イマセウカ

○相田政府委員 法人モ包含致シマスガ、
總ジテ此ノ金庫ノ取扱ヒマス業者ハ、中小
ノ商工業者等ト御理解ヲ願ヒタイノデアリ
マシテ、法人ニ付テモ其ノ程度ノモノニ限
ラレルコトニナラウト思ヒマス、轉廢業計畫
ハ直接政府ノ指導ノ下ニ、或ハ地方廳ノ指導
ノ下ニ立テラレマスルノデ、其ノ際ニ於テ自
ラ中小ノモノニ限ラレルコトニナルモノト
考ヘテ居ルノデゴザイマス、資金ノ計畫ニ

ノハ立テテ居ルノデアリマスガ、先程振興部長カラモ話サレタヤウナ事情モザイマスルノデ、茲デ答辯ハ一ツ御許シヲ願ヒタ
イトイ思ヒマス
○駒井委員 中小商工業者ニ限ル、斯ウ云フ風ナ今ノ御答辯ノヤウデアリマスガ、第
一條ヲ見マスト、別ニ中小商工業者ト云フ
ヤウナコトハ書イテナイノデゴイマスガ、
一體中小商工業者ト云フモノハ、大體ドレ
位ノ程度ノモノヲ御認メニナルノデアリマ
セウカ
○堀政府委員 中小商工業者ニ限ルト云フ
コトハ、法案ニハ書イテゴザイマセヌガ、實
際問題ト致シマシテ、工業デ申セバ、大キ
ナ工業者ト云フヤウナモノハ、大體相當ナ
設備モ持ツテ居リマスシ、之ヲ適當ニ指導
致シマスレバ、轉業問題ヲ起サズニ、所謂
時局產業ノ方ニ向ツテ行カセルコトガ出來
ルト考ヘテ居リマスノデ、自然問題ハ中小
ノモノニ限ラレテ來ルデアラウト思ツテ居
リマス、商業者ニ付キマシテモ、同ジヤウ
ナ意味合ニ於キマシテ、現實ノ問題トシテ
ハ轉業ノ問題ノ起キルノハ、中小ノモノニ
限ルノデヤナイカト云フヤウニ考ヘテ居リ
マス、サウ致シマシテ、中小ト云フモノノ
限度ヲ、何處ニ置クカト云フコトデゴザイ
マスルガ、是ハハツキリシタ客觀的定義モ
ゴザイマセス、又實際問題ト致シマシテ、
轉業問題ガ起キテ參リマスレバ、ソレヲ皆
更生金庫ノ方デ救濟スルト云フ結果ニナル
ト思ヒマス、唯先程申シマシタヤウニ、大
工業者、大商業者ニ付テハ、其ノ問題ガ起
キズニ濟ムノデヤナカラウカト云フ見透シ
ヲ持ツテ居リマス

實際問題トシテ大資本ノ商工業者ハ、ソレ自身ノ力デ轉業シ得ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルト云フ御話デゴザイマス、併シイト云フモノモ、是ハ生ジ得ルグラウト思フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニハ、ヤハリ大資本ノ商工業者ニ對シテモ救濟ノ手ヲ伸ベヨウ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○堀政府委員 金庫ヲ設ケマシタ趣旨ハ、中小商工業者ニ對スル處置トシテ設ケラレタコトハ、間違ヒナインデアリマスガ、大キナモノハ自分ノ力デ轉業シ得ルト申スヨリモ、大體大キナモノニハ餘り轉業問題ト云フモノハ起キナイノデハナイカト云フコトヲ、前提トシテ考ヘテ居ルノデアリマス〇駒井委員 ソレハソレ位ニ致シマシテ、先程ノ問題ニ戻リマスガ、營業權ノ問題デアリマス、營業權ヲ認メルヤウニシヨウト云フ振興部長ノ御話ヲ伺ツタノデアリマスガ、此ノ營業權ト云フモノハ、是非認メテ戴カナケレバ、實際ノ運用上效果ガ薄イノデハナイカト、實ハ思フノデアリマス、大藏次官ガ何カアルダラウト言ハレマスガ、其ノアルト云フモノヲ時價ニ見積ルト、例ヘバ炭屋ニシテモ、米屋ニシテモ、桶トカ、笊位ノモノハアルカモ知レマセヌケレドモ、斯ウ云フモノヲ時價ニ見積ルト、極メテ少額ノモノデアリマシテ、之ヲ基準トシテ融通スルト云フコトニナツテハ、到底救濟ガ通スルト云フコトニナラナケレバナラナイカレルト云フコトニナラナケレバナラナイカレルト云フコトニナラナケレバナラナイカレルト云フコトニナラナケレバナラナイカレルト云フコトニナラナケレバナラナイカレルト云フコトニナラナケレバナラナイカレルト云フコトニナラナケレバナラナイカ

金トカ、或ハ收益倍合カ何カデ還元ヲ致シ
マシテ、營業權ヲ大體ノ基準ヲ定メ、之ニ
對シテ資金ノ融通ヲスルト云フコトニシテ
戴キタイト思ツて居リマス、サウシテ是ハ
國家ノ損失補償ガアルノデアリマスカラ、
大體ニ於テ其ノ商賣ヲ營ンデ居ル狀態ニ於
テ資產ヲ評價シテ、ソレニ對シテ貸付ヲシ
ヨウ、斯ウ云フコトデアリマシタガ、是ハ
實際ノ商賣ヲシテ居ル時ノ狀態ノ額以上ニ
貸出ヲシテ戴ケルノデゴザイマセウカ、何
カ時價ノ範圍内トカ何トカ云フ基準ガ、ソ
コニアルノデゴザイマセウカ

○相田政府委員 資產評價委員會デ評價致
シマス時ニハ、一應營業ヲ繼續スルモノト
シテノ價格ニ依ルノデアリマス、自然唯建
物ナラ建物ノ値段、或ハ今御引例ノ筈トカ
庖丁トカト云フモノソレ自體、バラ／＼ノ
モノトシテノ値段ニ依ルノデハアリマセ
ヌ、營業ヲ繼續スルモノトシテ評價スルノ
デアリマス、隨テ此ノ評價ニハ當然營業權
的ナ要素ガ加味サレテ、評價サレルト云フ
コトニナルト思ヒマス

○駒井委員 大體營業權ヲ認メテ下サルト
云フコトニハ、間違ヒナイヤウデアリマス
カラ大變結構ダト思ヒマス、ソレカラ第
七條ノ第一號ノ資產ノ管理又ハ處分ヲ委託
シナイ場合ニハ、融通ハ受ケラレナイ、斯
ウ云フ風ニ解釋シテ宜シイノデアリマスカ
○相田政府委員 其ノ點ハ左様ニ解釋シテ
居リマス、サウ云フ風ニ致シタイト思ツテ
居リマス

○相田政府委員 國民更生金庫ノ業務ハ、
今マデノ質問應答ニ依ツテ、モウ相當明カニ
ナリマシタヤウニ、非常ニ特殊ノ業務ヲ行
フモノデアリマス、初メカラ相當ノ損失ヲ
生ズルコトガ、當然豫想セラレテ居ルノデア
リマシテ、普通ノ金融機關ニ於キマシテヘ、
假ニ庶民金庫ノ如キモノヲ取ツテ考へテ見
マシテモ、其ノ業務ノ根本ニ於テ非常ニ達ツ
タ所ガアリマスノデ、是ハヤハリ別個ノ機
關ヲ設ケル方ガ宜イト考ヘタ譯デアリマス、
又一面カラ申シマシテ、此ノ國民更生金庫
ニ對シテハ、相當多額ノ損失補償及び經費
ノ補助モ致スノデアリマス、隨テ他ノ既設
ノ金融機關ニ、假ニ之ヲクツ付ケルト致
シマシタ場合ニ於テモ、其ノ計算ハスツカ
リ全部別ニシテ置クコトガ必要ナノデアリ
マシテ、寧ロ其ノ點カラ見マシテモ、別個
ノ金融機關ヲ作ツタ方ガ宜シイト考ヘタ次
第デゴザイマス

○駒井委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

○菊池委員長 ソレデハ次ニ石井徳久次君

○石井委員 私ハ主トシテ國民貯蓄組合法
案ニ付テノ質問ト、其ノ他二、三御尋ネ致
シマス、ソコデ第一ニ承ツテ見タイト考ヘ
マスコトハ、第一條ニ付テデアリマス、第
一條ニ依リマスルト「戰時ニ於ケル國民貯蓄
ノ增加ニ資スル爲」云々、斯ウ云フ風ニナツ
テ居リマス、國民ノ貯蓄ヲ獎勵スルコトハ、
戰時ト平時トヲ問ハズ極メテ必要ダト考ヘ
ルノデアリマス、此ノ組合法ヲ特ニ戰時ト
御限リニナリマシタ其ノ理由ニ付テ、御伺
ヒシタイト思ヒマス

○栗原政府委員　此ノ法案ニ於キマシテ戰時ト云フコトヲ諷ツタノハ、ドウ云フ理由アルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、御説ノヤウニ貯蓄ノ獎勵ハ、戰時平時ヲ問ハズ道德律ト致シマシテモ、又經濟上ア問題ト致シマシテモ獎勵スペキコトデアリマシテ、皆カラ左様ナ趣旨デ獎勵ヲサレテ居ルヤウデゴザイマス、併シナガラ本法ニ戰時ト諷ヒマンタノヘ、今日政府ガ今次事變ニ付キマシテ、財政經濟ノ運行ヲ圓滑ニスル爲ニ、貯蓄ノ獎勵ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテ、本法ニ依ツテ決メラレテ居リマス所ノ組合ノ貯蓄ハ、此ノ戰時ノ目的ノ爲ニ増強ヲ圖ル、斯ウ云フコトヲ主眼ト致シテ居ルノデゴザイマシテ、又斯カル意味合ニ於キマシテ、免稅其ノ他ノ特點ヲ、考慮致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

マシタガ爲ニ、却テ此ノ貯蓄組合ノ發達ヲ
碍スル、斯ウ云フヤウナ結果ニ相成リハ
セヌカト惧レルノデゴザイマス、是ハ御承
知ノコトト考ヘマスガ、私田舎ニ居ツテ考
ヘテ見マスト、工場デアリマストカ、或ハ
商店デアリマストカ、斯ウシタ方面ニハ、
サウシタ方面ニ相當鍛錬ヲシタ、或ハ熟練ヲ
シタ人モアリマスシ、又サウシタ餘裕ノア
ル人モアルノデアリマス、或ハサウシタ施
設ヲナシ得ル會社モアルト考ヘマスルガ、
農村等ニ於キマシテサウ云フヤウナコトヲ
部落會、或ハ任意ノ組合ニ於テヤラネバナ
ラスト云フコトニナリマスト、先ヅ第一番
ニハサウシタ適任者ヲ得ルコトガ極メテ困
難デアリマス、又其ノ爲ニ非常ナ經費ヲ
使ハネバナラヌ、斯ウ云フ問題モ起ルト
考ヘマス、現ニ御承知ノ通リニ産業組合等
ニ對シマシテハ、農事實行組合等ノ加入ハ
許サレテ居ルノデアリマス、此ノ農事實行
組合ノ加入ト云フコトハ、極メテ宜イコ
トデアリマスガ、割合ニ是ガ進マヌノハ何
故デアルカ、斯ウ申シマスト、此ノ農事實
行組合カ産業組合等ニ加入スル場合ニ於キ
マシテハ、殆ド産業組合ノ事務所ト同ジヤ
ウナ形ノ、色々ナ手續ガ要求サレテ居ルノ
デアリマス、隨テサウ云フコトヲヤルガ爲
ニハ、非常ナ面倒ヲ其ノ人ニ掛ケルノデア
リマス、サウシタ面倒ナコトヲスルヨリモ、
寧ロ加入セヌ方ガ宜シノイダト云フコトデ、
ヤウナコトカラシテ、アノ加入ガ極メテ遲
延トシテ進マス、斯ウ云フヤウナ實情ニア
ルノデアリマス、丁度ソレト同様ニ、今マ

相當發達シタカモ知レマセヌガ、新シクス
ウシタ第三條デアリマストカ、或ハ第七條
デアリマストカ云フコトニ依ツテ、手續ノ
面倒ヲ要求サレルコトニナルト、寧ロ從來
アリマシタ組合ガ、其ノ爲ニ解散シヨウヂ
ヤナイカト云フヤウナ、逆ノ效果ヲ現シテ
來ルノヂヤナカラウカ、監督ノ上ニ於テハ
極メテ便利デアリマスケレドモ、獎勵ノ上
ニ於テハ、逆效果ヲ來スト云フコトヲ惧レ
ルノヂアリマスガ、是等ニ對スル御用意御
考ヘフ、拜聽致シタイト考ヘテ居リマス
○栗原政府委員 只今ノ御意見ハ非常ニ御
尤モノ御意見デゴザイマシテ、私共此ノ法
案ヲ立案致シマス時ニ、ヤハリ真先ニ其ノ
コトヲ考ヘタノデゴザイマス、今マデ政府
ノ勸奨ニ依リマシテ、愛國運動ト致シマシ
テ、此ノ組合ガ五十一年ノ多數ニ上ル發達
ヲ見マシタコトハ、洵ニ是ハ國民ガ今日ノ時
局ニ對シマシテ、本當ニ協力スルト云フ考
ヘカラ出テ居ルコトト思フノデアリマシテ、
愛國運動デアルト云フ精神ハ、飽クマデモ
守立テ行カナケレバナラスト考ヘテ居ル
ノデゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ法ヲ作リ
マシテ、此ノ法ノ適用ニ依ツテ、直ニ貯蓄
ノ増強ヲ圖ルト云フヤウナコトハ、少シモ
豫期シテ居リマセス、寧ロ從來ヨリモ愛國
運動ト云フモノヲ、一層盛ニシテ貯蓄心
ノ昂揚ヲ圖ツテ、サウシテ貯蓄ノ増強ニ資
シタイト云フ考ヘデゴザイマス、而シテ左
様ナ考ヘカラ致シマシテ、今御詫ガアリマ
シタヤウニ、此ノ組合ヲ法制化スルニ對シ
マシテモ、或ハ之ニ法人格ヲ與ヘルトカ、
或ハ煩瑣ナル一定ノ手續ヲ課スルトカ云フ
ヤウナコトハ、出來ルダケ避ケナケレバナ

ラスト云フ考ヘニ出発シテ居ルノデゴザマス、大體ニ於キマシテ、此ノ法ノ規律シテ居リマスコトハ、現状ニ即シテソレ以面倒ナコトヲ掛ケタリ、或ハ愛國精神ヲ鍾アリマシタナラバ、ソレハ非常ナ問題デアルト思ヒマシテ、非常ニ慎重ナル考慮ヲ致シタ積リデゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ三條若クハ七條ニアリマスモノモ、貯蓄組合ニ對シマシテ最小ノ限度ノ届出、其ノ他ノ義務ヲ命ジタノデゴザイマシテ、現在此ノ中デ大部分ノモノハ既ニ報告モ取り、又適當ナル監督ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテ、大體ニ於テ新シク非常ナ事務ヲ課スルコトハナイヤウニ致シテ居ルノデゴザイマス、第三條ニアリマスモノモ、斯ウ云フ届出ガ今日府縣ニ於テ行ハレテ居ル實例モ、無論ゴザイマスシ、是ガ監督助成ノ方面カラス、第三條ニアリマスモノモ、斯ウ云フ届出居ルノデゴザイマス、又七條ニ付キマシテモ同様ニ、最小限度ノモノヲ規定致シタ積リデゴザイマス、御説ノヤウニ飽クマデモ法ヲ設ケマシテ、其ノ法ノ執行ニ依ツテ直チニ貯蓄ノ成績ヲ擧げ得ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、貯蓄獎勵ハ愛國運動ト致シマシテハ益之ヲ強化致シテ行キタイト者ヘテ居ル次第ゴザイマス
○石井委員 第五條ハ或る程度ノ補助ヲ與ヘルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマス、隨テ補助ヲ與ヘルト云フ上カラ考ヘテ、斯ウシタ監督ノ手續ヲ執ラレルコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、私貯蓄スケレドモ、唯私地方ニ居リマシテ産業組

合等ノ經營ニ當ツテ居ル者デアリマスガ、
ニ考ヘ居リマス、ソレハ實際カラ考ヘテ見
ルト、斯ウ云フ面倒ナコトヲヤルコトハ、農
村ニ於テハ斯ウ云フ組合ノ發達ニ、非常ニ妨
ゲニナルノデアリマス、ト申上げマスノハ、
斯ウシタコトニ慣レタ人間ガ居ナイコト、
ソレカラ又サウシタコトヲヤラセル暇ノ
アル人ガナニ、斯ウ云フヤウナコトガ、總
テ斯ウ云フモノノ發達ヲ阻碍スルノデアリ
マス、唯任意的ニ話合ツテ、貯蓄ヲヤラウ
デハナイカト云フコトニ付テハ、是ハヤツテ
居リマス、例ヘバ十人ナラ十人、十五人ナ
ラ十五人ノ者ガ、毎月一圓ナラ一圓ヅツ貯
蓄シヨウデハナイカト云フヤウナ話合ヒニ
依ツテヤル所ノ貯蓄ハ、非常ニ徹底シテ行
渡ルノデアリマス、併シナガラ斯ウ云フヤ
ウナ形ニ整ヘテ、サウシテ帳簿ヲ備ヘルト
カ何トカ云フコトニナリマスト、ソコニ面
倒ガアツテ、サウ云フコトデアルナラ止サ
ウデハナイカト云フヤウナ結果ニナツテ來
ルコトガ、往々ニシテアルノデアリマス、
サウ云フコトヲ私非常ニ憂慮致シテ、今ノ
質問ヲ致シタノデアリマス、ソレデ是ハ補
助ヲ與ヘル上ニ於テハ、已ムヲ得ヌ御要求
カト考ヘマスガ出來ル限り簡易ニ之ヲヤツ
テ下サルコトガ、此ノ際極メテ必要ダト考
ヘルノデアリマス、吾々ノ地方ニ於テ、又
吾々ノ地方ニ限ラヌト思ヒマスガ、產業組合
等デハ產業組合其ノモノガ主體ニナツテ、
ノ當座預金デアルトカ何トカ云フモノデハ
ナクシテ、例ヘバ若シ二千六百年ノ記念ナ

ラ二千六百年記念貯金トカ何トカ云フヤウナ
形ニ於テ、組合員全體デ「ツノ規約貯金ヲヤ
ルト云フヤウナコトガアルノデアリマス、
是ハ方々ノ組合デヤツテ居ルト私考ヘマス
ガ、斯ウシタモノハドウ云フ風ニ御認メニ
ナルノデアリマスカ

○栗原政府委員 先程モ申シマシタヤウニ、

現在愛國運動ニ依ツテ發達致シテ居リマス

此ノ組合ヲ、此ノ法律ニ依リマシテ直チニ
新シモノニ作リ替ヘル、或ハ新シイ法律關
係ヲソコニ設定スルト云フヤウナコトハ、
此ノ法律ノ效果トシテ直チニ發生スルコト
ハナイノデゴザイマシテ、現在ノ狀況ヲ飽

クマデ尊重致シテ、之ヲ適當ニ指導監督致

シテ行キタイト云フ方針デゴザイマス茲ニ

最小限度ノ規律ヲ設ケマシタコトハ、只今

御話ガアリマシタヤウニ、補助金ヲ與ヘル

トカ、或ハ組合員ニ對シテ免稅ノ特典ヲ與

ヘルト云フヤウナ問題カラ、多少ノ規律ヲ

要スル、或ハ監督上必要ナルコトヲ行ハシ

ムル爲デアリマスガ、之ニ付キマシテモ

只今御話ノアリマシタヤウニ、徒ラニ面倒

注意ヲ致シタイト存ジマス

ソレカラ産業組合ニ付キマシテハ、此ノ

第一條ノ三號ニ該當致シテ居ルノデアリマ

シテ、産業組合ヲ組織スル構成員デ、貯蓄組

合ヲ作りマシタ時ニヘ、此ノ條項ニ當嵌マル

譯デゴザイマス、此ノ場合ニハ産業組合全

體デ作ルト云フコトモ、起り得ルグラウト

思ヒマスシ、又組合員ガ便宜適當ナ區域ニ

於テ、ソレドヽ適當ナ範圍ノ貯蓄組合ヲ作

○石井委員 第六條ニ依リマスト「主務大臣

必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ

依リ第一條各號ノ一ニ掲タル者ニ對シ國民

貯蓄組合ヲ組織スベキコトヲ命ズルコトヲ

得」トナツテ居リマス、一體此ノ必要アリト

御認メニナルト云フノハ、ドウ云フコトニ

ナルノデアリマスカ、私共此ノ法案ノ全

體カラ考ヘマシテ、第六條ノ國民貯蓄組合

ヲ組織スルコトヲ命ズルコトガ、或ハ主

眼ニナツテ居ルノデハナイカト考ヘラレ

ルノデアリマスガ、一體ドウ云フ所ニ、

ドウ云フ場合ニ、斯ウ云フモノヲ命ゼラ

レルノデアルカ、之ヲ承ツテ見タイト考ヘ

マス

○栗原政府委員 第六條ニ付キマシテハ、

先程大藏次官カラモ御辯申上ガタヤウニ

存ジマスガ、先程來申シマスヤウニ、國民

貯蓄ノ運動トシマシテハ、大體ニ於テ今日

マデ良好ノ成績ヲ收メテ居ルノデゴザイマ

シテ、今日主務大臣が第六條ニ依ツテ、組

織命令ヲ發シナケレバナラスト云フヤウナ

事態ニ遂着シテ居ルト云フコトハ考ヘテ居

マセヌ、今後ニ於キマシテモ、組合ノ組織ハ

從來同様國民運動トシテ專ラ勸獎ニ依ル

ト云フコトデ參リタイト存ジテ居ルノデゴ

ザイマシテ、今日ニ於キマシテ組織命令ヲ發

スルト云フヤウナ事態ヲ、豫期シテ居ル譯

テモゴザイマセヌ、併シナガラ今日ノ國際情

勢其ノ他ノ推移ニ顧ミマシテ、今後益、國

民貯蓄ノ増強ヲ圖ラナケレバナラスト云フ

必要ハ、緊切デゴザイマスノデ、此ノ國民

ト云フコトヲ、此處ニ表ハシタノデゴザイ
マス、是ガ本法ノ主眼デハナイカト云フ御
話デゴザイマシタガ、之ヲ本法ノ主眼トス
ルト云フ意味ガアルト云フコトハ考ヘテ居
リマセヌ、併シナガラ單ニ愛國的バカリデ
ナク、法律的ニモ此ノ組合ヲ組織シテ、貯

蓄ノ増強ニ協力ヲスルト云フコトハ、國家

ノ要請デアルト云フコトハ、茲ニ現ハシタ

イト云フ趣旨デ、本條ガ出來テ居ル次第デ

ゴザイマス

○石井委員 第一條ノ先程カラ伺ヒマシタ

戰時ニ限ル問題デアリマスガ、是ハ此ノ法

案ト致シマシテハ、一應戰時ト云フヤウニ

書切ツテアルノデアリマスケレドモ、ソレ

ハ戰後ト雖モ斯ウシタ法律ヲ存續スル意思

ガアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ承ツテ置

キタイト思ヒマス

○栗原政府委員 本法ハ戰時立法ト申シマ

スカ、戰時ノ貯蓄ニ關スルコトヲ決メタノ

デアリマスガ、本法ノ效力ニ付キマシテハ

戰爭ガ終了スルコトニ依ツテ、直チニ其ノ

效力ガナクナルト云フ風ニハ考ヘテ居リマ

セヌ、其ノ規律スベキ對象デアル所ノ組合

ガ存續致シマス限り、此ノ法律ハ活動ヲ續

ケテ行クモノト考ヘルノデアリマス、唯戰

了シタ場合ニ組合ハ其ノ目的ヲ失ツテ、サ

此ノ組合ト云フモノガ出來タ、戰時ガ終

テメト云フノハ、組合ノ存續要件デハナク

ウシテ解散スルノデハナイカト云フヤウナ

點ガ、或ハ殘ルカト思ヒマスガ、茲ニ謂フ

ゴザイマシテ、其ノ意味ニ於テ戰爭ガ終了

了ノ戦時ニ於ケル國民貯蓄ノ増強ニ資スル

得税ヲ課ケルコトニ相成ツタノデアリマス

ノデ、是ガ今回ノ法律ニ依リマスト、貯蓄

銀行預金及ビ産業組合貯金ト云フモノハ、元

解散スルト云フコトハナイト考ヘテ居リマス、
唯免稅ノ點ニ付キマシテハ、是ハ戰爭ノ目
的ノ爲ニ、貯蓄ヲスルト云フコトガ主眼ニ
ナツテ居ルノデアリマス爲ニ、免稅條項ニ
關シマシテハ、戰爭ガ濟ンダ後ハ終了スル
ト云ヒマスカ、停止スルト云ヒマスカ、其

ノ效力ニ變更ヲ來スヤウナコトニナルト考
ヘマス、併シ其ノ場合ニ於キマシテモ、戰

爭終了ノ確定シタ日カラ、或ハ戰爭終了ノ
確定シタ日ヲ公布シタ日トナリマスカ、兎

ニ角戰爭終了ノ確定シタ日カラ、相當期間
經過シタ後ニ、サウ云フ處置ヲ執リタイト

考ヘテ居ルノデゴザイマス

○石井委員 サウシマスト、此ノ法律其ノ

経過シタ後ニ、サウ云フ處置ヲ執リタイト

考ヘテ居ルノデゴザイマス

モノハ、戰爭後ト雖モヤハリ效力ガアルノ

モニハ、戰爭後ト雖モヤハリ效力ガアルノ

モノハ、戰爭後ト雖モヤハリ效力ガアルノ

ドウカ、詰リ戦争が終了致スト云フコトニ
ナレバ、補助金若クハ獎勵金ト云フモノモ
ヤハリ中止サレルノデアルカ、斯様ニ相成
ルノデアリマスカ、ソレモ承ツテ置キタイト
ト思ヒマス

○栗原政府委員 補助金ノ交付ハ戰爭が濟
メバ止メルカドウカト云フ點デゴザイマス
ガ、此ノ貯蓄組合ニ依リマシテ貯蓄ヲシ、
又若干ノ期間固定的ニ資金ヲ、ソコニ蓄積
致シマシタモノニ對シマシテ、之ヲ戰爭ガ
濟ンデカラ、直チニ自由ニ流動化スルト云
ヒマスカ、引出等ニ依リマシテ全ク自由ニ
ナツテ、其ノ爲ニ戰爭終了後ニ非常ナ資金
ノ流動ヲ見ルト云フヤウナコトハ、是ハヤ
ハリ避ケナケレバナラヌコト考ヘテ居ル
ノデゴザイマシテ、戰爭ガ濟ミマシテモ、
組合ノ監督竝ニ指導助成ト云フコトハ、相
當期間必要デアリマス、隨ヒマシテ、其ノ時
期ニ至リマシテモ、政府ガ當然之ヲ指導監
督スルト云フコトニ相成リマスルナラバ、
或ハ補助金ナリ、獎勵金ナリヲ交付スルコ
トハ適當デアル、斯ウ云フ風ニ見ラルル場
合ガ生ズルカト考ヘマス、若シサウ云フ場
合ニ立至リマシタナラバ、或ハ補助金、獎
勵金等ノ交付モ考慮シナケレバナラスト考
ヘテ居リマス

○石井委員 只今仰セニナリマシタ點ヲ、
私ハ憂慮スルノデアリマシテ、此ノ立法ハ
唯戰時中ノモノデアル、戰時中ニ吾々ガ奉
公スル意味ヲ以テ貯蓄スルノデ、戰爭ガ濟
メバモウ吾々ハ斯ウ云ツタコトハシナクテ
モ宜イノダ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方ヲ、貯
蓄スル者ニ起サセルヤウナ懸念ガ、此ノ文
章ヲ通ジテ、ナイデハナイヤウニ考ヘルノデ
アリマス、此ノ點ハ一ツ十分ニ御注意ヲ戴
キマシテ、成程戰時立法デアルト云フヤウ
ナ建前デ、戰時ト云フヤウナコトガ書イテ
アリマスケレドモ、私ハ折角斯ウシタ法文
ヲ御作リニナル以上ハ、戰時或ハ平時トニ
限ラズ、サウシタ第五條ニ於キマズル補助
金ニ致シマシテモ、第四條ノ特典ニ致シマ
シテモ、存續ヲサレルト云フコトガ、極メ
テ必要デアルト考ヘマス、是ダケノ希望ヲ
一應申上ゲテ置キタイト思ヒマス

尙ホ一點御尋ネ申上ゲタイト考ヘマスノ
ハ、第八條第二項ニ「地方長官ハ前項ノ規
定ニ依リ委任ヲ受ケタル職權ニ屬スル事務
ノ一部ヲ市町村長ヲシテ取扱ハシムルコトヲ
得」トナツテ居リマスガ、一體市町村長ガ
恐ラク或ハ組合ノ組織デアルトカ、或ハ檢
査トカ云フヤウナモノニ對スル、書類ノ取
扱フ所ノ事務ト云フモノハ、ドウ云フ程
度ノモノカ、私ハ存ジナインデアリマスガ、
シテ、市町村長ガ之ヲ取扱フコトハ如何
カト存ジマスノデ、大體ニ於テ地方長官ガ
シテハ、只今ノ所デハ組合ノ成立及び解散、
竝ニ組合規約變更ノ場合ノ届出ヲ、市町村
長ヲ經由セシメルト云フコトニ致シテ居ル
ノデゴザイマス、此ノ點ハマダハツキリ申
上ゲルマダニ至ツテハ居リマセスケレドモ、
免稅ノ特典ヲ受クル場合ニ、ヤハリ市町村
長ノ證明ガ要ルト云フヤウナ事柄モ起ツテ
來ヤシナイカト考ヘマスノデ、此ノ程度ノ
コトハ市町村長ガ知ツテ居ルト云フコトガ、
必要デアルト考ヘルノデゴザイマス、ノミ
ナラズ、大體ニ於キマシテ今日ヤツテ居リ
マス事柄ハ、此ノ程度ノコトヲ市町村長ガ
現ニ取扱ツテ居ルノデゴザイマス

○石井委員 國民貯蓄組合法ニ對スル私
ノハ、第一條ノ「國民更生金庫ハ時局ノ要
請ニ應ジ」斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデ
アリマス、此ノ時局ノ要請ト云フコトハ、
ハ組合ノ組織命令デアルトカ、斡旋ノ方法
ノ規定デアルトカ、又ハ一般監督ノ權限ノ
一部ヲ持ツテ居ルト云フ風ニ考ヘテ居リマ
シテ、主ナル働くナスモノハ地方長官ニ
ニ御尤モデゴザイマシテ、市町村長ニ種々
ノ新シイ事務ヲ附加スルコトハ、出來ルダ
ケ避ケマスト共ニ、検査監督ト云フヤウナ
コトモ、市町村長ガ之ヲ取扱フコトハ如何
カト存ジマスノデ、大體ニ於テ地方長官ガ
シテ、市町村長ニ取扱ハセル事務ト致シマ
シテハ、只今ノ所デハ組合ノ成立及び解散、
竝ニ組合規約變更ノ場合ノ届出ヲ、市町村
長ヲ經由セシメルト云フコトニ致シテ居ル
ノデゴザイマス、此ノ點ハマダハツキリ申
上ゲルマダニ至ツテハ居リマセスケレドモ、
ハ、極メテ範圍ガ廣イト考ヘルノデアリマ
ス、隨テ大體ニ於テ、文句ハ時局ノ要請ト
云フコトニナツテ居ルケレドモ、中小商工
業者ガ轉業ヲシ、或ハ廢業ヲスル如何ナル
場合ニ於テモ、此ノ國民更生金庫ト云フモ
ノヲ利用シ、或ハ是ノ助成ガ發動シ得ルモ
ノデアル、斯ウ云フ風ニモ考ヘラレルノデ
アリマスガ、此ノ點ニ關スル御考ヘヲ承ツ
テ見タイト考ヘマス

○相田政府委員 「時局ノ要請ニ應ジ轉業又
ハ廢業ヲ爲ス」ト申シマスノハ、國際情勢ノ
變化、時局ノ進展ニ伴フ統制ノ強化ニ基ク
原材料又ハ取扱商品ノ減少、生産又ハ販賣
ノ制限又ハ禁止、配給機構ノ整理等ノ影響
ヲ受ケテ、轉業又ハ廢業セントスル商工業
者ヲ言フノデアリマシテ、此ノ範圍ニ付キ
マシテハ、尙ホ此ノ法案ノ第十七條第三項
ニ基イテ發セラレマスル勅令ノ中ニ、詳細
ニ規定致ス積リデアリマスルシ、尙ホ國民
更生金庫ハ第三十二條ニ依ツテ、事業ノ方
法ヲ定メテ、主務大臣ノ認可ヲ受ケナケレ
バナラヌコトニナツテ居リマス、サウ云フ
モノニ於テ規定セラレルノデアリマス、實

ノハ、第一條ノ「國民更生金庫ハ時局ノ要
請ニ應ジ」斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデ
アリマス、此ノ時局ノ要請ト云フコトハ、
是ハ解釋ノ仕様ニ依リマシテ、色々ニナ
ツテ來ルト考ヘルノデアリマス、昨日來時
局ノ要請ト云フコトニ對スル直接ノ質問モ
ナカツタカト考ヘマスケレドモ、大體或ハ
外交轉換ニ依ツテ影響ヲ受ケルコトデアル
トカ、或ハ色々ナ資材ノ關係デアルトカ、
斯ウ云フヤウナコトモ、色々話ガアツタヤウデ
アリマスガ、此ノ時局ノ要請ト云フ
ノデアル、斯ウ云フ風ニモ考ヘラレルノデ
アリマスガ、此ノ點ニ關スル御考ヘヲ承ツ
テ見タイト考ヘマス

○栗原政府委員 第八條ニ決メテアリマス
コトハ——大體主務大臣ニ残シテ居リマス
ル權限ハ、貯蓄方法ノ規定デアルトカ、或
ハ組合ノ組織命令デアルトカ、斡旋ノ方法
ノ規定デアルトカ、又ハ一般監督ノ權限ノ
一部ヲ持ツテ居ルト云フ風ニ考ヘテ居リマ
シテ、主ナル働くナスモノハ地方長官ニ
ニ御尤モデゴザイマシテ、市町村長ニ種々
ノ新シイ事務ヲ附加スルコトハ、出來ルダ
ケ避ケマスト共ニ、検査監督ト云フヤウナ
コトモ、市町村長ガ之ヲ取扱フコトハ如何
カト存ジマスノデ、大體ニ於テ地方長官ガ
シテ、市町村長ニ取扱ハセル事務ト致シマ
シテハ、只今ノ所デハ組合ノ成立及び解散、
竝ニ組合規約變更ノ場合ノ届出ヲ、市町村
長ヲ經由セシメルト云フコトニ致シテ居ル
ノデゴザイマス、此ノ點ハマダハツキリ申
上ゲルマダニ至ツテハ居リマセスケレドモ、
ハ、極メテ範圍ガ廣イト考ヘルノデアリマ
ス、隨テ大體ニ於テ、文句ハ時局ノ要請ト
云フコトニナツテ居ルケレドモ、中小商工
業者ガ轉業ヲシ、或ハ廢業ヲスル如何ナル
場合ニ於テモ、此ノ國民更生金庫ト云フモ
ノヲ利用シ、或ハ是ノ助成ガ發動シ得ルモ
ノデアル、斯ウ云フ風ニモ考ヘラレルノデ
アリマスガ、此ノ點ニ關スル御考ヘヲ承ツ
テ見タイト考ヘマス

際問題ト致シマシテ、今申シマシタヤウナ
條件ニ該當スル業者ニ付キマシテハ、必ズ
關係省乃至地方廳ニ於テ、其ノ轉廢業計畫
ノ樹立ヲ指導スルコトトナリマスルノデ、
之ニ依ツテ具體的ノ場合ニ於キマシテハ、
其ノ範圍ガ自ラ明カニナルモノト考ヘテ居
ル次第デゴザイマス

令ノヤウナ生産、加工若シクハ販賣ノ禁止
制限ト云ツタヤウナ、サウ云フ要請ニ依ツ
テ轉業、廢業ヲシナケレバナラヌモノナド
モ含メル積リデアリマシテ、要スルニ具體
的ニ轉廢業計畫ヲ、政府或ハ地方廳デ立テ
サセル時ニ、之ヲ判斷スル外ナイカト考へ

○石井委員 私ノ間ヒニ對シマシテハ、マ
ダ明瞭デナイヤウニ存ジマスルガ、要スル
ニ是ハ極メテ廣範圍ニ解釋スルノダ、決シ
テ狹義ニ解釋スルノデハナイ、斯様ニ考ヘ
テ差支ヘナインデアリマセウカ
○相田政府委員 其ノ點ハ其ノ通り御考ヘ
戴イテ、結構デゴザイマス
○石井委員 ソレカラ発業ヲナス商工業

者、斯ウナツテ居リマスガ、商工業者ノ中ニハ色々アルト考ヘマス、專業ノ商業者、專業ノ工業者モアリマセウガ、或ハ副業ヲ營ンデ居ル商業者、或ハ工業者モアルト考ヘルノデアリマス、商業或ハ工業カラ來ル所ノ轉業、廢業ト云フコトモアリマセウシ或ハ副業カラ來ル所ノ轉業廢業ト云フヤウナモノモアルト考ヘルノデアリマス、斯ウシタモノモ極メテ廣義ニ解釋ヲシテ行ツ

テ、ヤハリ商工業ニ對スル時局ノ壓迫ダト、
斯様ニ考ヘテ差支ヘナインデアリマセウカ
○相田政府委員 業務ノ一部分ヲ廢止スル
モノニ付キマシテモ、實情ニ即シマシテ、
轉廢業トシテ取扱フノガ妥當アルト認メ
ラレルヤウナモノハ、之ヲヤハリ包含サセ

○石井委員 ソレカラ其ノ次ニ「資産及負債ノ整理ヲ促進シ其ノ更生ヲ圖ルコトヲ目的トス」斯ウアリマス、私ノ御尋ネ申上ガタイト考ヘルノハ、此ノ更生ト云フ問題デアリ

マス、更生ヲ圖ルト云フ上ニ於テハ、色々
アルト考へルノデアリマスガ、此ノ國民更
生金庫法ガ更生ヲ圖ツテヤルト云フコトハ

スガ、從來トモ商工省ニ於キマシテ、例ヘ
バ工業者ニ付テ申シマスナラバ、其ノ營
デ居リマス工業自體ニ付キマシテ、設備、
技術等ノ改善ヲ圖ツテ、事業ガ成立ツヤウ
ナ方策ヲ講ズルト云フヤウナコトニ致シマ
シテ、事業自體ノ強化ト云フコトニ依ツテ、

○総務省委員 中小企業者ノ轉業問題ニ付
キマシテハ、先づ轉業ト云フ問題ヲ起キ
マスル處置ハ、如何ニ御考ヘニナツテ居ル
ノデアリマセウカ、之ヲ承ツテ置キタイト
思ヒマス
更生出來ナイ、斯ウ云フヤウナ場合ニ對シ
マスル處置ハ、如何ニ御考ヘニナツテ居ル
ノデアリマセウカ、之ヲ承ツテ置キタイト
思ヒマス
ト以テ轉業若シクハ廢業ヲスルモノノ更生
ヲ圖ルト云フコトハ困難ダト、斯様ニ考ヘ
ルノデアリマス、是ハ昨日來色々質疑應答
ガアリマシテ、色々ノ訓練所デアルトカ、
或ハ指導所デアルトカ云フヤウナモノニ依
ツテ、斯ウスルノダト云フヤウニ御答辯ガ
アツタヤウデアリマス、併シナガラ更生ヲ
圖ツテヤルト云フコトニ付テハ、唯金フ貸
シテヤル、或ハ職業上ノ僅カバカリノ指導
ヲシテヤル、或ハ訓練ヲシテヤルト云フコ
トダケデハ、到底出來ヌコトデハナイカト
レテヤツテ指導シテヤル必要ガアルト考ヘ
ルノデアリマス、是ハ恐ラク商工省ノ方ノ
ノ更生ノ方策ト云フヤウナ部面マデモ、觸
考ヘルノデアリマス、結局更生ヲサセル其
ノ更生ノ方策ト云フヤウナ部面マデモ、觸
考ヘルノデアリマス、是ハ恐ラク商工省ノ方ノ
振興部アタリニモ關係ノアルコト考ヘマ
スガ、ソレ等ニ對スル御考ヘヲ承ツテ置キ
タイト考ヘルノデアリマス、更ニ若シ其ノ
更生策ヲ講ジテヤツテ、轉業、廢業者ニ對ス
ル更生ノ道ヲ開イテヤツテ、尙且ツソレガ
サナイヤウニシテ行クコトガ、第一ニ考ヘ
ナケレバナラヌ點ダト思ヒマス、ソレニ付
キマシテハ、昨日モ大體申上ゲタト思ヒマ

フヤウニ、時局産業ニ替ツテ行ケルモノデ
アレバ、ソチラニ替ルヤウニ考ヘルコトガ
必要デアラウト云フコトデ、ソレニ付キマ
シテモ出来ルダケノ助成指導ヲ實行シテ居
リマス、是ハ今後トモ相當困難ナ問題トハ
思ヒマスルケレドモ、出來得ル限リノ方策
ヲ講ズル考ヘデ居リマス、ソレカラ愈、其ノ
方法ヲ執ツテモ、ドウシテモ轉業シナケレ
バナラスト云フ立場ニ立チマシタ時ニハ、
先刻御話ガアリマシタ通り、主務省或ハ地
方廳ガ指導致シマシテ、其ノ組合ニ於テ事
業ノ整理計畫ヲ立テル譯デアリマスルガ、
其ノ際ヤハリ組合ニ於キマシテ、其ノ人ノ
轉業策ト云フヤウナコトニ付テモ、親身ノ
世說ヲサセルヤウニシテ參リタイト考ヘテ
居リマス、即チ組合等ニ於キマシテ轉業方
策ヲ考ヘマスル時ニ、ヤハリ今度出來マシ
タ職業指導所ト云フヤウナ所トモ、連絡ヲ
取リマシテ、其ノ轉業問題ニ付テ世話ヲス
ルト云フコトハ必要ト思ヒマスルガ、愈々

○石井委員 私ノ國民更生金庫ニ對シマス
ル質問ハ是ダケデアリマスルガ、要スルニ
私考ヘマスルノニ、唯更生ヲ圖ツテヤルン
ダト言ツタ所デ、無責任ト言ツテハ失禮カ
ト考ヘマスケレドモ、唯オ前斯ウシタラ宜
ノダト云フコトダケデハ、十分本當ノ更
生ハ出來ヌト考ヘルノデアリマス、是ハド
ウシテモ極メテ親切ニ、更生計畫ニ對スル
一種ノ責任マデモ持ツテヤルト云フ氣持ヲ
持ツテ進ンデ行ツテ貰ハネバ、本當ノ更生
ハ出來ヌト考ヘマス、是ダケノコトヲ希望
シテ置キマシテ、私ノ更生金庫ニ對スル質
問ヲ終ルヨトニ致シマス

次ニ、私ハ銀行局長サンニ質問ヲシテ見
タイト考ヘマス、是ハ此ノ法案トハ直接關
係ハナイコトデアルノデアリマスルガ、從
來モサウデアリマシタガ、最近ニ於キマシ
テハ、特ニサウ云フヤウナ御方針ニナラレ
テ居ルヤウデアリマスルシ、又時局ノ要
請モサウデアリマスガ、地方ニ於キマス
所ノ銀行、或ハ貯蓄銀行トカ、其ノ外
金融機關ノ合同ト云フモノガ、懲懃サレ
テ居ルノデアリマシテ、是ハ相當ノ成績ヲ
擧ガテ居ルモノト考ヘルノデアリマス、同
時ニ又今後トモ相當ノ勢ヒヲ以テ、合同
デアリマストカ、或ハ整理デアリマストカ
云フヤウナモノハ、進捗シテ行クモノト考
ヘルノデアリマス、是ハ今日ノ時局ノ場合
ニ於テ、極メテ必要ナルコトダト考ヘルノ
デアリマス、斯ウシタ場合ニ於テ考ヘラレ

ル問題ハ、從來地方ニ幾多散在致シテ居リマサ
シタ銀行ト云フモノニ依ツテ、利便ヲ受ケ
テ居リマシタ地方ノ金融ヲ如何ニスルカ、
此ノ問題デアリマス、從來ノ地方ニ散在致
シテ居リマシタ所ノ銀行ハ、各ヤハリ缺點
ハアリマシタガ、同時ニ又特長モ持ツテ居
ツタノデアリマス、是ガ大イナル資本ノ下
ニ、或ハ合同ラスル、或ハ又大銀行ノ支店
トナツテ變化ヲスルトカ、斯ウナツテ參リ
マスト、勢ヒ地方銀行ノ特性ト云フモノハ、
段々ニナクナツテ來ルト考ヘルノデアリマ
シテ、本當ニ銀行ラシイ銀行ノ經營ヲ致シ
テ行ク、斯様ニ相成ツテ來ルト考ヘルノデ
アリマス、斯様ニナツテ參リマスト、田舎
ノ地方ノ金融ト云フモノハ、段々ニ都會化
サレルト云フ結果ニ相成リハシナイカト考
ヘルノデアリマス、ソレデ從來一郡或ハ一
地域ニ一ツト云フコトニナツテ居リマシタ
銀行ガ、一縣ニ一ツ或ハ二ツト云フ結果ニ
相成ツテ參リマスト、隨テ地方的ニハ貯蓄
ノ機會ハ別ナ方法ガアルト考ヘルガ、金融
ノ機會ト云フモノガ極メテ乏シクナツテ參
トヲ考ヘルノデアリマス、ト言ツテモ是ガ
惡イト私ハ申上ゲルノデハアリマセヌガ、隨
シタ恩澤ヲ受ケルト云フコトガ、極メテ少
クナツテ來ルノデハナイカト云フヤウナコ
ルノデハナイカ、斯ウ云フ銀行ヨリノサウ
シタ恩澤ヲ受ケルト云フコトガ、極メテ少
クナツテ來ルノデハナイカト云フヤウナコ
トヲ考ヘルノデアリマス、ト言ツテモ是ガ
サウシタ方面カラ考ヘテ見マスト、勢ヒ私
共ノ考カラ致シマスト、產業組合デアリマ
ストカ、或ハ商業組合デアリマストカ、或
ハ工業組合デアリマストカト云フヤウナモ
ノデハナイカ、又サウセネバ地方ノ本當ノ

金融ト云フモノハ行ハレス、地方民ガ要望スルガ如キ金融ハ、困難ニナツテ來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、隨テ私茲ニ承ツテ見タイト考ヘマスノハ、一體銀行合同後ノ地方ニ於ケル金融ハ、其ノ視點ヲ何處ニ御置キニナル御積リデアルカ、又私見ヲ以テ致シマスレバ、勢ヒ産業組合、或ハ商工業組合ト云フヤウナモノヲ通ズル金融ト云フモノガ、強化サレネバナラヌ、斯ウ考ヘラレルノデアリマスガ、若シサウナツタ場合ニハ、産業組合或ハ商業組合等ニ對スル考ヘ方モ、從來ノ如キ考ヘ方ヨリ、モウ一應考ヘ直サネバナラヌ、斯ウ云フヤウナコトニナルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス

リマス、是へ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、此ノ方面ニ關スル石井サンノ平素ノ御研究モ、實ハ私共能ク直接間接ニ承ツテ承知致シテ居リマス、併シ地方銀行ノ合同ヲ致シマシテモ、必ダシモ地方ノ金融ニ不便ヲ來スコトノナイヤウニ、私共トシマシテハ十分ニ注意致シテ居ル積リデアリマス、併ラ致シテ大キクナリマシタ後モ、營業所ハ原則トシテ元ノ所ニ殘シテ置キマスシ、取引モ原則トシテ其ノ儘承繼セセルヤウニ致シテ居リマス、サウンシテ若シ此ノ地方ノ謂ハバ中程度以下ノ金融ヲ實行スルト致シマシテ、小サナ銀行ト大キナ銀行ト比ベテ見マスレバ、寧ロ強力ナ大キナ銀行ヲシテ之ヲ營マセル方ガ、却テ合理的デアルト考ヘラレマスノデ、唯面倒臭ガツデ、比較的小サナ金融ヲヤラナクナルト云フヤウナコトノナイヤウニ、十分注意致シテ行キタイト思ヒマス、唯右井サンノ御話ニモアリマシタヤウニ、今後ノ地方金融全體ノ機構ヲ、ドウ云フニ考ヘ、其ノ運營ヲ如何ニスルカト云フコトハ、非常ニ大キナ問題デアリマシテ、之ニ關シマシテハ、所謂經濟團體ノ再編成問題、或ハ農村團體ノ再編成ト云フヤウナコトニモ、關聯ヲ致シテ考ヘナケレバナラヌ問題デアルト存ジマス、隨ヒマシテ私共モサウ云フ問題ノ發展ト睨合ハセマシテ、常ニ研究ヲ致シテ居ル次第アリマス、一應ソレダケ御答へ申上ゲマス

來テ參ツタノデアリマス、會テハ産業組合
中央金庫ガアリ、又商工中央金庫ガアル、
斯ウ云フヤウナ狀態デ、色々國策の庶民金
融機關ト申上ゲマスカ、斯ウシタモノガ幾
ラモ出來テ參ツタノデアリマスガ、之ノ統
合ニ關スル御説ヲ、拜聽致シテ置キタイト
思フノデアリマス、尤モ今回提案ニナツテ
居リマス國民更生金庫デアリマストカ、或
ハ恩給金庫デアリマストカ云フモノハ、特
殊ナ使命ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、今
日直チニ之ヲ統合スルト云フヤウナコト
ハ、考ヘ得ラレヌト思ハレルノデアリマス、
併シナガラ商工組合中央金庫、或ハ産業組
合中央金庫、斯ウ云フモノハ考ヘヤウニ依
レバ統合出來ルモノデハナイカ、斯様ニ考
ヘルノデアリマス、元々産業組合中央金庫
ガ出來マシタ當時ニ於キマシテハ、決シテ
今日考ヘラレルガ如ク、農村金融ヲ中心ト
シテ出來タモノデハナイト考ヘルノデアリ
マス、ヤハリ中小產者ニ對スル金融ノ統制
ヲ圖ル金庫デアツタト考ヘルノデアリマス
ソレガ慥カ昭和十一年デアリマシタカ、十二
年デアリマシタカ商工中央金庫ト云フモノ
ガ、當時ノ時勢ノ要求上出來タノデアリマ
スガ、併シナガラ庶民階級、所謂中小商工
業者ニ對シマスル所ノ金融ニ致マシテモ、
或ハ又農村階級ニ對スル金融ニ致シマシテ
モ、特殊ノ今回出來マス更生金庫、或ハ恩
給金庫ト云フヤウナモノデアリマスナラバ、
是ハ別デアリマスガ、其ノ他ニ於テハ異ナ
ル筈ガナイト考ヘルノデアリマス、是等ノ
如キモノハ當然合併シテ宜イノヂヤナイカ、
斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、寧ロ當
時是ガ分立致シマシタ爲ニ、或ハ商工業者
農業者ト云フヤウナモノノ、對立ヲ來タシ

タコトノ、間接ノ原因ニモナツテ居ルノデ
ヤナイカト考ヘルノデアリマス、殊ニ其ノ
當時カラ私共豫想致シテ居ツタノデアリマ
スガ、商工金庫ノ業態ト云フモノハ、決シ
テ豫想セラレテ居ツタ如ク發展ハシテ居ラ
ヌト考ヘルノデアリマス、今日ニ於テハ少
シ違フカト存ジマスケレドモ、私共ガ拜聴
シテ居リマス所ニ依リマスト、貸出金ニ致シ
マシテモ四千万圓程度、預金ハ五百万圓程
度デアルト云フコトデアリマス、隨テ商工
金庫ノ大部分ノモノハ、政府ノ資金カ何カ
ニ仰イデ居ルノダ、或ハ品工債券ニ仰イデ
居ルノダト云フヤウナ形ニ在ルヤウデアリ
マス、一面産業組合中央金庫ノ方ニ於キマ
シテハ、相當ノ餘裕金ヲ持ツテ居ル、斯ウ
云フヤウナ形ニ在ルヤウニ私考ヘマス、隨
テ此ノ餘ツタ方面ヲ、不足ナ方面ニ廻シテ
行クノダ、相互金融ヲチャルト云フヤウナコト
カラ考ヘマシテモ、是等ノモノハ御考ヘニナ
ツテ宜イノデヤナカイカ、斯様ニ考ヘルノデ
アリマス、同時ニサウシタ考ヘ方ハ、廳テ地
方ノ庶民金融デアル信用組合ノ聯合會デア
リマストカ、斯ウシタ方面ニモ考ヘガ及ボシ
得ラレルト考ヘルノデアリマス、曾テ農業
團體ノ統合ト云フヤウナ問題ノ際ニ、然ラ
バ市街地信用組合ハ、ドウナルノダト云フ
ヤウナコトニナツテ、市街地信用組合ノ人
達ハ、可ナリ憂慮サレタヤウデアリマス、
色々自ラ計畫シ、自ラ研究モセラレテ居ツ
ス、大キナ階級ニ對スル金融ハ興業銀行ガ
アリ、勸業銀行ガアルカラ別デアリマスガ
唯農村金融、商工金融ト云フヤウナ、所

菊池委員長 次ハ一ノ瀧君ニ御願ヒシマ

膨脹致シマシテ、歳入ノ財源ハ大體公債ニ仰グト云フコトニナツテ居リマス關係上、國民ノ協力ヲ求メテ貯蓄ヲスルコトハ、最も至當ナコトト存ズルノデアリマス、極メテ簡単ニ御尋ネ致シマスガ、國民貯蓄組合ニ加入致シマシタ預金者ハ、出シ入レノ如キハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、自由ニ出シ入レテ宜シウゴザイマスカ、或ハ又定期的ニ、戰時中ハ絶對ニ引出スコトナラヌト云フヤウナ建前デゴザイマスカ、其ノ邊ヲ一寸御伺ヒシタイ

○一ノ瀬委員 大體同僚諸君から質問が出
マシテ分りマシタガ、極ク簡単ニ一、二御
尋ネヲシタイト思ヒマス、此ノ豫算モ年々

膨脹致シマシテ、歲入ノ財源ハ大體公債ニ仰グト云フコトニナツテ居リマス關係上、國民ノ協力ヲ求メテ貯蓄ヲルコトハ、最モ至當ナコトト存ズルノデアリマス、極メテ簡単ニ御尋ネ致シマスガ、國民貯蓄組合ニ加入致シマシタ預金者ハ、出しシ入レノ如キハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、自由ニ出シ入レテ宜シウゴザイマスカ、或ハ又定期的ニ、戰時中ハ絶對ニ引出スコトナラヌト云フヤウナ建前デゴザイマスカ、其ノ邊ヲ一寸御伺ヒシタイ

ニ致シタイト考ヘデ居ル次第デゴザイマス
トワ故ノマヌカム合意金

○一八 満員 サウジマスト 総合販金
ハ例へバ一万圓ナラ一万圓、二万圓ナラ二
万圓ト云フ額ヲ決メテ、組合員ガ各、毎月デ
モ掛金ヲ割ニ出スノデゴザイマスカ、或

○栗原政府委員　組合貯蓄ノ額ニ付キマシ
ハ其ノ資力ニ應シテ圓組合ニ貯蓄スル者
モアルシ、或ハ五十圓貯蓄シテモ宜イト云
フヤウナ仕組デモ宜シウゴザイマスカ

テハ概々自律ト申シマスカ、組合ノ定メ方ニ依リマシテ、自ラ決マルノデアラウト思フノデゴザイマス、此ノ國民貯蓄組合法案其ノモノニ付キマシテハ、斯ノ如キモノヲ

規定スル者ヘハゴザイマセヌ、併シナガラ此ノ法案ヲ運用致ス場合ニ於キマシテ、政府ハ能力ニ應ジタ貯蓄ヲシテ貰ヒタイト云

ガ、貯蓄能力ノアルモノハ出來ルダケ多
額ニヤレ、然ラザルモノハ已ムヲ得マセ
ヌカラ、其ノ能力ニ應ジタ所ノモノヲヤレ
ト云フコトニシテ、差支ナイモノト考ヘテ

居ルノデゴザイマス
○一ノ瀬委員 只今日本銀行ノ手持公債
ハ、下レ立ゴザイマスカ

○要原政府委員　日本銀行ノ國債ノ手持額
ハ、此ノ數字ハ二月ノ十五日デゴザイマス
ガ、約三十四億圓デゴザイマス

○一ノ瀬委員　此ノ三十四億圓ノ公債ハ、
今後政府ト致シマシテモ極力消化ヲサレル
御見入ダリマスカ

○栗原政府委員 御承知ノヤウニ昭和十五
年度ニ於キマスル貯蓄ノ目標額ヲ、百二十
億圓ト設定致シマス場合ニハ、日本銀行ノ
手持國債ノ狀況ヲ睨合ハセマシテ、是ノ消
化ヲ期スル考ヘモアツタノデゴザイマスガ、

併シ今日貯蓄ノ状況ハ順調デアルト先程モ

申シマシタクレトモ 三十四億圓程度ハ手持ハ、殘ツテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ此ノ事由ニ付キマシテハ、國債消化ニ充ツベキ資金ガ、若干事業資金等ノ方ニ振

午後四時十分散會

殖銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正
去建業、北、三義、一舌、二賓達、許、中

法律案此ノ三案ニ一括シテ質疑ラ詰スニ
トニ致シマス、ドウゾ御出席ヲ願ヒマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス

向ケラレタト云フヤウナ關係ガアルノデゴ
ザイマシテ、其ノ爲ニ貯蓄ノ増加ハ、豫定
通りニ順調ニ進ミマシタケレドモ、日本銀
行ノ國債手持高ト云フモノガ、案外減ラナ

カツタヤウナ状況ヲ呈シテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ政府ト致シマシテハ、極力此ノ手持國債ノ消化、減少ニ向ツテ資金ノ蓄積ヲ努力致シテ居る次第デゴザイマス

○一ノ瀬委員　國債ノ賣レ残ルト云フコト
ハ、洵ニ是ハ憂慮スベキ事柄ト存ズルノデ
アリマシテ、政府ト致シマシテハ銀行、或

ハ信託會社、保險會社、或ハ無壽、信用組合ト云フヤウナ方面ニ對シテ、國債ヲ持タセルト云フコトニ付キマシテ、自發的ニ今後モ御委セニナリマスカ、或ハ將來斯ウ云フ銀行、信託會社、保險會社ノ如キニモ、

預金ノ何割、或ハ保険收入ノ何割ハ、強制的ニ國債ヲ持タセル、持タネバナラヌト云フヤウニスレ考へガアリマスレカ、一寸其ノ

○相田政府委員　金融機關ニ對シマシテ、
邊ヲ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス

ハテアル通リデゴザイマス
トハ考ヘテ居リマセヌ、其ノコトハ屢々申上
張帶白ニ國儀ニ憲官テ持タルト云々

○菊池委員長　ソレデハ今日ハ此ノ程度デ質疑ヲ止メマスガ、明日午後一時カラアトノ日本勸業銀行法中改正法律案　北海道拓リマスケレドモ、明日ニ讓リマセウ、今日ハ是デ打切りマス